京城日報

朝刊と合せて八頁

發行所 合資會社 京城日報社

支那帝政問題

▲延期勸告と袁大總統

帝國政府勸告の趣旨を說き＝地方官に訓電を發す

北京各漢字新聞の報ずる所によれば中央政府は帝政問題に關し各地方文武官に宛大要左の如き訓電を發したりと（北京特電）

大總統の訓諭に據れば日本代理公使は本國政府の訓令に依り外交總長に向ひ中國々體問題進行は甚だ速かにして實行の際內亂發生の懸念あり各友邦の利害に關するを以て暫時其實行を見合はすべき旨友誼的勸告あり又決して中國の內政に干涉するに非ざる旨聲明ありしに付外交部をして現今國內の實況詳述回答せしめ置けり抑日本政府勸告の趣旨は新政府に於ても曾て懸念せし所なるを以て特に各省文武官に向ひ各地方の秩序を保全し得るや否や電信を以て問合せたる結果各地方とも何れも治安を維持し得る旨保證し來りし所なり日本政府は多分我れの內情を詳らかにせずして右の如き友誼的勸告を爲したるものならん又決して中國の內政に干與するに非ざる旨を特に聲明し居るを以て素より我れに必ず從ふことを强ふるの言に非ざるなり此際誤解の爲め過激の言論を爲し友邦の感情を害するが如きこと之なき樣言論界に對し篤と說諭を加ふべし云々

▲伊國の正式延期勸告

伊國代理公使ベレース氏は十二日午後外交部に總長を訪ひ正式に帝政施行の延期勸告を爲し陸總長は四國に回答せると同意味を以て之に答へたり（北京特電）

歐洲大亂

▲波斯の事態益重大

露國主要新聞紙の注意喚起＝世界戰爭の渦中に投ぜんとする極東

露國主要なる新聞紙は波斯の事態益々重大ならんとする事及び其れが恰も土耳其及び勃牙利が獨逸側に與みするに至れる以前の狀態に酷似せる事に注意を喚起せりレッチ紙は近東より中東に戰鬪區域の擴大せんとする形勢を指示し世界戰爭の渦中に極東を包括するに至るの必ずしも浮迂ならざるに至る可きを說き若し獨逸の陰謀を終熄せしむる能はざれば露英兩國は自ら之を處理することの必要ある事を主張せり（露都電報）

▲獨逸大戰鬪艦擊沈さる

生還する者僅に一名

英國公報に曰く獨逸戰鬪艦ラインランド號（一萬八千二百二噸）は英國潛航艇の爲め擊沈せられ乘組員中僅に一名救助せられたり（紐育電報）

▲獨逸食糧窮乏之愈甚し

獨逸の食糧窮乏之愈々甚だしく新食物供給方法十二日發表せらる同法に據れば肉食禁斷日を設け肉類一切の消耗を防がんとするなり（紐育電報）

○參列外國使節

御大典に參列したる外國使節は十九日午前八時及び同十時の二回に京都發汽車にて東京に歸る可しと（京都特電）

○日置公使一行

日置駐支公使同夫人令孃及び縫田書記官夫妻一行十四日午前郵船淡路丸にて門司に著す一行は同船にて天津上港北京に歸任す可しと（門司特電）

○淺山醫學博士逝く

京都帝國大學教授淺山醫學博士病氣を得て逝く博士は眼科の名醫として著はれしが洵に惜む可し行年五十五歲（京都特電）

雜報

對支外交顚末

大隈首相談

我が政府は今般支那に對して帝政延期に關する警告を發したるに就き坊間種々風說をなし或は帝國の對支政策は根本方針を確定せざるもの丶如く傳ふるものありと雖も抑も對支外交方針は

▲帝國の國是として 久しき以前より確定せるものあり今多少彼我の交涉復雜を極め來れりとて其の政策に變更ある如く傳ふるは想はざるも甚だしと云ふべし帝國の外交は何處迄も帝國の外交にして政府の外交にあらず故に其の更迭によりて大なる變化を來たすが如きは苟も爲政者としては最も拙劣なるものにして實に邦家の前途を顧慮せざる不忠の臣たるを免かれず予は今日對支根本政策の內容に就て具體的に言明する自由を有せずと雖も既に之に對する帝國の國是確定せる以上唯今後

▲枝葉の問題に就て 交涉するに過ぎず元來支那政府の意嚮に於ては日本は武力に於て强大なるべきも若し英露佛米獨其他歐洲諸國に對しては到底支那政府に對する態度の如きものあらず一擧一動彼等の鼻息を窺ひつゝあるものと認定せるを以て從來我國との外交關係に於ては一應帝國政府の申込を受けたる上歐米諸國に援助を求め多少の利權を與ふるの約を以て我國に對し干涉せしめ以て帝國の方針に大變更を來さしむる狡策を執り來りたるが今や

▲歐洲には未曾有の大亂あり加ふるに政府は彼が前例を知るが故に今回の擧は先づ英佛露の諸國に通告して豫め其の贊成を得且つ米國大統領ウイルソン氏に對しては特に帝國政府の意嚮一に支那內地に於ける秩序維持と東洋に於ける平和を保持せんにあり全く私心を離れたる友誼的の警告なる旨を領得せしめ彼の贊同を得たる後交涉は開始せられたるなり然るに豫期に違はず支那は此機會に於て極めて曖昧なる回答をなし帝政延期は國民の意嚮なるを以て之が實施は已むべからざる內情あり故に若し

▲貴國の杞憂する が如き動亂は此の民意を壓迫して帝政を延期するによりて反つて生じ易しと拒絕的態度を示すかと思へば又一方に於て敢て是れにより我國は貴國並に三國の警告を拒絕する意なしとて殆んど其眞意孰れにあるかを疑はしめたり如斯き回答を以て帝國政府は滿足すべきにあらざる事勿論なれば直ちに予は外務省を通じて彼國政府に質問書を發し而して彼れに對し最も明確なる回答を求めたり然るに去る六日に至り

▲右に對する回答も 到來せるを以て石井外相の報告に基き京都府廳內にて臨時閣議を催し種々協議したる結果當分彼れの態度及び支那內地の狀勢を觀望し帝國政府は專ら監視的態度を執る事に決定し其々帝國政府の意嚮を石井外相より小幡代理公使を通じて支那政府に傳達したり是れ帝國の對支根本政策に基き外交の實を永遠に擧げんとするに外ならずして政府は茲姑く監視的態度を執るも若し萬一にも彼國に於て動亂惹起し

▲在留邦人が危害 を被るが如き場合には既定の方針に從つて相應の手段を講ずべき事勿論なり近時彼國政府は日本皇帝の御即位大典期を見越して第三國を介して奸策を弄せんとしつゝありとの報ある由なるも予は今更かゝる陰謀に驚くものにあらず元來支那國民は太古中古に於てもかの三國時代或は金宋等の當年に於ても權謀術數一として行はれざるなくあらゆる奸策を弄せられたり故に如斯きは

▲彼國の國民性と して予は豫め覺悟しつゝ閣僚と共に對支交涉を進行しつゝあれば帝國民はよろしく當局の措置に信賴して我が對支根本政策の實施せらるべき機會の一日も早からん事を鶴首して待つべし是れ敢て侵略的意味にあらずして全く東洋平和の爲め延いては世界平和に貢獻せんが爲に外ならずと確信す（京都特派員發）

支那態度如何

某消息通の談

支那政府は北京駐劄各國公使に對し國體投票は依然之を續行するも帝政の實施は四國の勸告及び其他の事情に顧念し本年中は實行せざる旨非公式に通告したる由傳へらるゝが之れに關しては未だ外務省へは何等の報道無きも某消息通の談に據れば果して支那政府が此の如き通告を爲したるや否は勿論不明なれども同政府が

▲四國の勸告を拒絕する 能はず又た四國に對して治安維持の保證を敢てすると能はざるが故に袁總統の威嚴を失墜せざる方法にて帝政實施を延期せんとするの意嚮あるは事實なるが如く現に北京電報を見るも各漢字新聞の論調は何れも帝政實施は結局延期せらるべきを仄めかし又た支那政府は過般四國に對する回答中に於て支那內地の形勢は斷じて不穩ならざるを以て外國人の利益を侵犯するが如き虞なく又た支那政府は之れに對し十分其責に任ずる底の辭を弄し圓滿に治安維持の保障を與ふる樣の陳述を爲したるが漢字新聞の論調は之れに對しても

▲極めて曖昧なる 言語を用ゆるに至れり之れ等は何れも支那政府の旨を受けたるものにて支那政府の意を忖度するに足るものなるが元來帝國政府の勸告は支那の形勢未だ國體變更を爲すの時機に非ざるを慮りたるに基くものにして何程の期間之を延期せよと言ふに非ず其時機は固より帝國が其場合に當つて帝國の判定すべき意思にして豫め之を定む可きものに非ず從つて茲一年を延期すと言ふが如きは勸告の精神に添はざるものなり而して現に帝國政府は既定の方針により帝國の態度を表明する事に決し居れば目下其成行を嚴重に監視し若し支那政府にして

▲小幡代理公使に 對し又陸駐日公使を通じて帝國政府に漏したる意嚮を反す如き事實を示すか又た勸告の主旨に戾るが如きことあらんか帝國政府は三國と共に斷乎たる措置に出づるは勿論なるが支那政府も目下四國の勸告及び內地の形勢に付き頗る焦慮し居りて形勢に一變調を來たし居るが故に或は本問題は急轉直下の成行を示すに至るなき乎（京都特派員發）

南言北語

獨逸は今や巴爾幹戰に全力を注いで居るらしい▲露軍が急に長驅伯林を脅かす樣な形勢もなければ英佛聯合軍が遂に本國に踏み込んで來る心配もない▲其處で英海軍の封鎖の爲めに非常に苦んで居る國內食糧の缺乏と銅の補給を計るには何としても巴爾幹を占領して小亞細亞へ手をかけねばならぬ▲だから獨軍は大に焦心て居るに相違ないが其うく澤山の兵力を茲に集中する事も出來ぬから例の得意の獨探で暗中飛躍を試みて居る樣に思はるゝ▲波斯の不穩やハイデラバットの回敎徒の騷動等は皆此徒輩の仕事に相違ない▲之から見ると何となく巴爾幹の戰雲は近東から中東其から極東へ移つて來さうになつて來た▲若し獨軍が首尾能く巴爾幹で勝つた時はチアルベルク附近の大銅山も土耳古第一の大鑛山と云はるゝアンガラ、マデンの大銅山も獨逸の自由になる▲のみならず小亞細亞方面から食糧の供給を得る事にもなるから其れこそ堪つたものではない▲其れ許りではない土勒爾軍で蘇士攻擊を企て一方埃及を脅かすに違ひない▲斯う考へて見ると巴爾幹の獨軍は一日も早く追つ拂はなければ何處迄厄介が來るか明らぬ▲希臘は英佛から四千萬法借用したが其れで協商側に參加せずば態の好い詐欺だ遠方から見て居てもハラ〳〵する▲獨探と云へば米國のシュワーブ軍器製造所やレーブリング會社は燒かれて仕舞つた之れも例の其奴等の仕事ぢやと云ふ▲米國は之れでも無言て居るのだらうか墺太利許りへ强く當る許りが能でもあるまい世界一の海軍國たらしめよと勇息が荒いが▲假裝敵國を其方へ持つて行つてウンと脅かすと睨みが利くかも知れぬよ

大典奉祝二句

逸庵 伊藤醇 謹詠

菊の輝き寶祚に紅き旗振る兒

晴れ陽射しに漂ふ人大典の秋

冬メリヤス

シャツ一枚に付〔但しズボン下同値〕

第一號 一圓三十五錢

同 第二號 一圓十五錢

同 第三號 一圓也

同 第四號 八十八錢

東京 塚谷出張店 京城本町

振替口座二九九三番 電話一三六番

新刊發賣

蘇峰學人著

平福百穗、山下鈎、鶴田櫟村、柳田謙吉、前川千帆（五氏畵）

簡淨疎宕なる山川人物の描寫

明快透徹なる朝鮮側面の觀察

兩京去留誌

▼四六版總クロース上製箱入 記事二七四頁 繪畫寫眞三十二種 定價金壹圓五拾錢

著者の東京、京城間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀峰の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕の小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、「朝鮮統治の要義」は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畵伯の繪畵は皆實境に臨で描く所に係り、嘖々眞に逼るの妙あり。體裁清雅高尙にして眞に几上の清賞に堪ふ。

優良 經濟

TRADE MARK

宮田製

アサヒ

パーソン

サンライス

國華

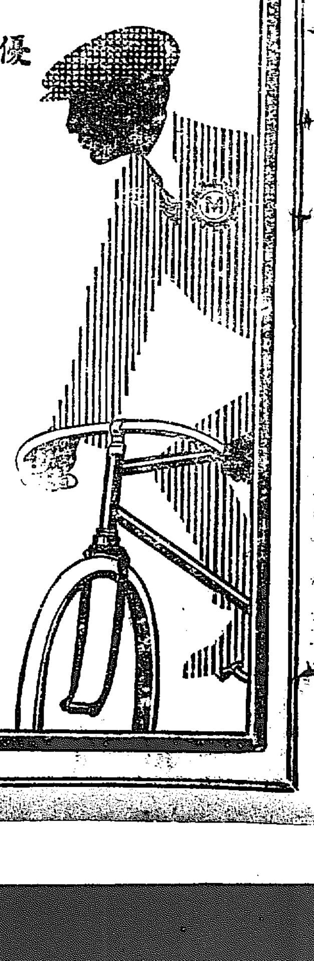
ミスター

號 自轉車

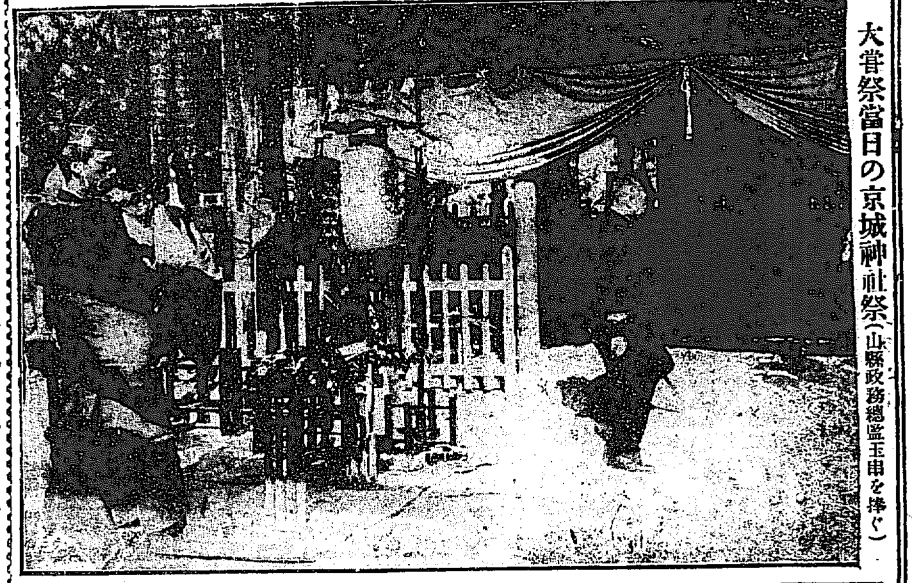
發賣店全國到る處有名なる自轉車店

◉摸造品多し各部分の◉印商標に御注意

宮田製の誇は堅牢にして輕快、然も優美にして實用的要素を具備せるにあり



發賣元 宮田製作所


大嘗祭當日の京城神社祭（山縣政務總監玉串を捧ぐ）

◎靜かなる大嘗祭の日

十四日は朝霧晴れて御苑内の松林青々たり、本日は大嘗祭執行さるゝの日なれば御苑の各門は堅く警護され一般庶民の通行は許されず、苑内靜かに府下各官幣大社へは衣冠束帯の勅使差遣され、市中の盛場の興行物初めその他何れも休業し工場の汽笛を聞かず寺院鐘を鳴らさず靜肅を極め居れり（京都特派員特電）

◎山菊一條離宮に納る

二條離宮饗宴場に飾らる可き山菊三十鉢は十四日朝眷には菊づくしの花襷袢にて袂は元祿模樣を茶色に織り松葉を染拔きたる袴を穿き菅笠を被りたる姿したる捧持者によりて二條離宮に納められたり（京都特派員特電）

◎大嘗祭日の京城神社

山縣政務總監を首め李王 李太王代理その他參拜す

京城神社の大嘗祝祭は十四日午前十時より南山の松翠濃かなる邊にて最も莊嚴に擧行されたり此日掃き淨められたる神殿の前には麗かなる日光に照り輝ける萬歳旛の下紫色の幔幕や鯨幕、五色の幔幕など取圍み神前の注連繩、幣帛、御榊などもいと神々しく拜せられたり、祭典は午前十時より始まりたるが先づ神官伶人參拜者の着席に次で副祭主の修祓始まり、續いて衣冠束帯に緋の袍を著けたる谷村祭主恭やしく神前に進みて開扉し奉れば其の間管絃の奏樂ありて一同禮拜す、次ぎに神前に白木の臺に白酒黒酒を始めさりぐの神饌を捧ぐる式あり此間又神々しき奏樂ありたるが續いて祭主幣帛を捧げたる後神前に祝詞を朗讀し玉串を捧げ了れば參拜者席よりは山縣政務總監起ちて恭やしく神前に玉串を捧げ尋いで李王殿下代理、李太王殿下、李堈公殿下代理の玉串を捧ぐるあり猶ほ釘本氏子總代、第九師團長代理、金谷府尹の玉串捧呈ありて午前十一時此の祭典を了る、猶ほ又一般の參拜者には龍山第九師團の兵士を始め各學校生徒等の參拜頗る多く斯くて神殿は午後三時まで開扉したるが當日菊日和の倭城臺公園は參拜の人々を以て滿され居たり

◎靜寂の大阪

空に煤煙を見ず 街に汽笛を聞ず

十四日は京都に於て大嘗祭の御儀執行さるゝ日とて煤煙の都と云はるゝ大阪市も今日ばかりは汽笛鳴らず、煙も上らず靜寂を極め居れり市よりは市内四十七の神社に長さ十八尺巾三尺の萬歳旛を奉納せり（大阪特電）

◎全部賣切れ

記念切手と繪端書は十三日で賣盡す

京城郵便局にては十日より御大典記念切手及び繪端書並に記念繪端書袋の賣捌を始めたるが内記念郵便切手貯金臺紙は十日の午前中早くも賣切れとなり切手の一錢五厘は最初八萬枚を準備せしが十三日中に賣切れ四錢切手及び十錢切手も各七千枚宛用意したれども意外に申込者多數に上り十三日迄に全部賣切れとなりたり而して三錢切手の如きは十三日迄賣り捌きたる數實に五萬枚の多きに達し繪端書又一萬五千組以上に達したり十四日は最終日なれども僅かに三錢切手と繪端書の少額を餘すのみとなりて同日中に全部賣り盡したり尚記念日附印は十五、六、七の三日間押捺すべしと

◎龍山の餘興

大提灯行列新舊龍山より練り出さん

龍山にては各町共賀に空前の趣向を凝らして曠古の祝典を祝すべく十六七日には新舊兩市街にて盛大なる提灯行列を擧行すべく各町委員に於て目下準備中なり今回の提灯行列は最も盛大なるべきを以て集合及び出發地點を新舊市街別々となし舊龍山側は和歌の池畔廣場に集合し午後六時を合圖に出發大島町より元町三丁目に出で四丁目を經て二丁目に歸へり一丁目より靑坡岡崎町に至り漢江通を一直線に進み龍山驛前より榮町に出で彌生町遊廓を一巡して更に和歌の池畔に引返して解散し新龍山側にては同時刻に龍山驛前廣場に集合し午後六時舊龍山と同樣に出發先づ鐵道官舍内を一巡して龍山橋筋より大島町元町三四丁目元町二丁目靑坡漢江通りに至り驛前にて解散の事に決し居れるが元町三四丁目にては町内催しの外に八景園の藝妓總出にて屋臺引廻はし元町二丁目にては一輪加、手踊等の外屋臺を出し假裝行列隊を出すべし目下準備に忙殺され居り其他榮町の屋臺、水産會社、鐵道構内旅館組合、佐久良座等にても屋臺を出して行列に參列する筈なれば此日の提灯行列こそは龍山初めての盛況を呈することならん

◎大連の大嘗祭日

大嘗祭本日大連神社にては午後三時より莊嚴なる祭典を執行す大内民政署長祭文を奏し玉串を奉りそれより參列者一同拜禮しついで酒饌を撤し閉式したるが參詣者頗る多く希望の向きに白酒、黒酒を分與したり（大連特電）

◎巡防暴行

逆陽の西方百支里なる海城縣と太安縣との境界地點に住む邦人五名巡防兵に襲はれ男子は悉く縛され非常なる暴行を受けたりとの報あり（大連特電）

◉猩紅熱發生　昨年の十一月中は猩紅熱猖獗を極め京城市中にては各學校の休業するなど大騒ぎなりしが本年は最初より嚴重なる豫防を勵行したる爲め發生するに至らざりしが本町四丁目銀行員高山某の娘（三）及び同人妹きく（一九）の兩名は十三日檢診の結果猩紅熱と判明し何れも總督府醫院に入院加療中

◉今夜の壽座　壽座の藝術座劇は十四日夜『嘲笑』（一幕）『飯』（一幕）『サロメ』（一幕）を上場す

◉心理感應學講演　心理感應學の講演にて有名なる金田萬次郎氏は這回滿鮮巡遊の途次入京十三日夜は龍山鐵道倶樂部にて鐵道局員及び陸軍々屬の人々の爲めに一場の講演を試みたるが氏は日常家庭に於ける父母の指示が其の兒女に感應する處の如何に大なるかを各種の實驗により示して頗る興味ある通俗的講話を試むる由追て京城にても氏の講演ある筈

◎高野山の奉讃　仁川宮町高野山にては十四日午後七時大嘗祭奉讃の爲め大般若經を轉讀し一般の參拜者に祝酒を頒つ由

■『サロメ』『飯』『嘲笑』──藝術座劇合評

□兎に角僕は藝術座のサロメを見て此前天勝のやつたサロメがつくぐ〳〵原作を侮辱したものだと思ふ。藝術座の緊張した舞臺を見て天勝の放漫な舞臺を思ひ比べるとお話にならぬ、第一舞臺に漂ふ氣分が異ふ。呼吸が異ふ。拍子が異ふ。

▽天勝のには科白を大分拔いてあつた、それから舞臺裝置なども異つてゐる。[illegible]要するに原作に忠實な藝術座のサロメを見た上で初めてサロメを談じ得る。

■けれども僕は、舞臺全體としては今の説が首肯されるけれど、サロメの役者としての須磨子は肉付の張りなく[illegible]ところが邪魔になると思ふ。

○そこが、しかし却て、肉を代表する女としてのサロメに相應しい感じを與へては居ないだらうか。

▲澤田のヨカナアンは、例の『雲雀』といふので、流石に立派な[illegible]を見せてゐる。

◎井戸の中に居て聲だけ聞かせてゐた時の方が、井戸から出て了つた時よりも豫言者らしい壓迫感を與へて居た。それから井戸の外に出てから、[illegible]

▲『飯』は彼れでもう殆ど完全に近い所まで行つたものであらう。[illegible]此劇を見てはじめて自分は日本人の新しい脚本が新劇壇によつて立派に權威を以て演ぜられてゐることを知つた。須磨子のお市、澤田の[illegible]、みや子のお松、中井のお杉、其の他[illegible]の何れも各人各個の性格を[illegible]印刷された活字の上から來ては到底見ることの出來ない人間を活躍させて居る。

○全く『飯』は三ツの脚本の中で一番見應へのある劇だと思つた。[illegible]

▽『飯』に比べると『嘲笑』は稍放漫で[illegible]

○何にもお芝居らしいところがある。吉野静江のお光は、此人があの美しい顏を見せたゞけで物を言はなければいゝにと思つた。

▲僕に言はせると『嘲笑』の宰介の勝見は持つて生れた樣な輕い表情さくさが半分まで通つてそれ以上に往かぬのが遺憾であつた、お光の静江は[illegible]あゝした女をよく表してゐた、此劇は脚本で讀んだ時の感興が半分位までしか舞臺の上では發見するを得出來なかつた。

■[illegible]

□サロメ開幕前十分（樂屋裏の藝術座）

『めし』が濟んだ後『サロメ』の樂屋を鳥渡失敬す可く女優部屋の扉をたゝけば『お這入り!!』と許り舞臺そのまゝの須磨子の聲がする、女王須磨子はと見ると今し妖艶なサロメの顏をお化粧中、髮はグル〳〵と坊主に卷いて紅筆を持つた右手の掌をふつくらした頰にくつ附けながら頻りに鏡を覗いて眉墨を描いてござる、鳥渡横を向いて會釋した時美しい眼と特色のある唇が際立つて眼に着く、倖編のネルに伊達卷を無造作にまいたまゝ、其の立膝も婿めかしい、明るい電燈の下の棚には紅筆、白粉、牡丹刷毛、水刷毛、たゝき刷毛などが散亂し大きな火鉢には金盥に湯が沸ぎつて灰の上には燒栗の殼、その右には王妃ヘロヂアスに扮する澤みや子とサロメの婢女になる不二子、静江、嘉枝の女優連中が何れも刷毛で寒さうに首筋を塗つてゐる、眼隈が櫻色にほんのりと紅い。と見ればそのあたりは一面の落花狼藉、トランクの蓋が開いて衣裳が重ねられたまゝひき出されてると思へば嬌めかしい女靴が轉がつてゐる、お次に隣の部屋を覗き込めばヘロデアスの扈從に扮する正邦が馬鹿に長い青い著物を卷き立てゝゐる、ヘロド王になる中井がどてらの儘で何處を風が吹くかといふ顏で入つて來る、奴隷の花甲が臺灣の生蕃のやうな扮裝で『寒い〳〵!!』と云ひながら這入つて來る、舞臺では大道具小道具が總出でヨカナアンの幽閉される井戸が出來る、城壁が出來る、幕の外からは開幕を促す拍手の音が急霰のやうに響く

恐しい風邪

▲寐ビエを愼め ▲速に治すべし

■風邪は萬病の原　復又風氣候が寒い方へと向出して、風邪が流行出した、困る事には風邪は兎角タヾでは濟まぬ。少し捨てゝ措いてコヂらかしたら最期、肺に熱が祟れば肺尖加答兒や肺炎になる。小供抔は急性の肺炎にでもなると、急に手の裏を覆す樣に斃れて終ふ。更に惡くすると殆ど不治の病と言はれる肺結核にもなる。腸胃に熱が祟れば腸胃熱、あの嫌な腸チブス抔にもなる。其他腦神經、腎臟何處へ何ういふ病を起すかも知れぬ。全く風邪は萬病の因である。なあに風邪位と莫迦にせずに、一時も速に治さなければ危い。

■かせ熱の簡單な注意　熱が非常に高い樣な時には、成る可く水枕をして氷で頭を冷すが宜い、尤も氷の間に合はぬ時は水で宜い、直接に冷い風が觸らぬ樣、さりとて室内を締切て空氣の流通を防げぬ樣注意せねばならぬ。少し位の熱だと起き出して外出したりする人が多いが、

あるが、あれこそ實に危險千萬、大病になる因である。暖にして寢て、適當な藥を服用して發汗し、速く熱を追拂つて終はねばならぬ。食物は消化の良いものゝ事は勿論である。

■大人と小供のかぜ熱　それから最も大切なのは藥の良いのを撰ぶ事である。良い藥でないと利かぬ許か却て飛んだ害毒ある事がある。かせ熱藥としては矢張最も世に信用のある蛇印アンチピリン丸が宜しい。かせ熱一切インフルエンザ、僂麻斯抔に大效がある。所で小供（七歲以下）は大人とは體質が違ふから、何うしても小兒專門のかせ熱藥オインに限る、オインは子供のかせ、ネツ、流行性感冒、痳疹、百日咳抔に大効がある。一般の家庭には是非此二藥を備へて風邪を惹いたと思つた時スグ服用なさい。タン咳の伴ふ場合には呼吸器散が一番効果がある。以上何れも信用高き健腦丸本舗大阪心齋橋丹平商會の模範製藥場に於て專門技師の調製した効果確實の藥で東京日本橋蠣殼町丹平支店其他全國藥店で取次販賣してゐる。これから風邪を惹易い時是非御用意あれ

泰三殿　片付た居所通知あれ　尾羽

ぢ　疾に苦む人の多いのに醫術の進んだ今日でもキカイ注射を唯一の療法として其の妙藥を發見し得ない自分も此病で十年も困難した先年大學で故ベルツ博士に診療を乞ひ御處方藥で速に治し其後同病知人に與へ又隣者にも推奬して其効果の偉大なる不思議な特効藥なる事を確認した故○痔妙散と名け七日分一圓で廣く希望者に頒與す貧困者には人助に施藥す　東京馬喰町三丁目振替二二〇五四電話浪三六八四開球盤發賣元大一商店

猿馬印　手足のかゆみいたみがよくなる　あかぎれ根切藥　定價五錢十錢廿錢　各藥店に取次あり　本舗　東京日本橋上槇町　安川晃榮堂

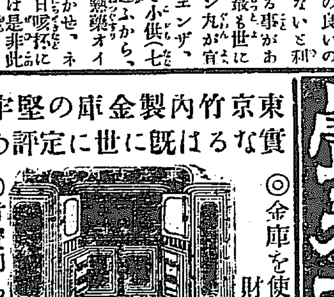
私事白神洋行京城支店主任として在勤中は一方ならざる御愛顧を蒙り千萬辱く奉存候今回合意の上同洋行を辭し左記の處にて從來の店舗に金物商を併置し和田欣次と共同營業致候間何卒倍舊の御引立の程偏に奉希上候　敬具
大正四年十一月十日
營業所　京城鍾路通二丁目（電話二六三一番）
馬毛　牛毛　フエルト　金物商　和田商會（基督靑年會前）
山口宇一

優等酒

福岡縣三井郡山川村　醸造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三三九番

安州炭と明治炭　品質優良價格低廉、經濟家の福音
明治鑛業株式合資會社朝鮮支店
安州炭坑石炭販賣所　平壤本町（電話一一六番）
安川松本商店石炭販賣所　鎭南浦三和町（電話三〇〇番）
白上商店　京城大和町一丁目（電話九五五番）

疊表商　ア　青山商店　備後尾道市西御所　本町一丁目

東京竹内製金庫の堅牢確實なるは既に世に定評あり

◎金庫を使用せざる人は財寶を貴ばざる人なり
◎財寶即ち生命なり金庫は遺憾なくこれを保護す
特約販賣店　和洋金物商　釘本藤次郎本店　京城本町二丁目　電話四五一、七四、二五六番　振替貯金京城二二五番
○御申越次第目錄進呈す○

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四番
入院隨意　普通病室並隔離病室
院長　醫學博士　古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢查の依頼に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

◉車輛に女の腕
[illegible]採派出所に届出しかば同所佐々木巡査[illegible]件の腕を府廳に引渡した[illegible]る可きが切斷の際車輛に附著したる[illegible]より上部にあるスチーム管の熱度の[illegible]
[illegible]又は寄贈の圖書は日本鳥類圖說同魚類圖說貝原益軒全集朝鮮植物誌[illegible]
[illegible]坂本驍（二十）は十一日午後七時頃所用の爲め南大門通三丁目[illegible]道を通行の[illegible]方共詰め寄りて互に論爭を始め路上にて組打ちをなしたる末坂本は穿き[illegible]
[illegible]時二十分頃龍山よりの電車が南大門通五丁目セブランス病院前を進行中運轉手は[illegible]に飛乘らんとして[illegible]

…に引返し機關庫に入りたる後掃除夫が掃除をなさんとしたる際車輪の間に生々しき女の左腕が挟まり居たるより失神せん許り驚き此旨直ちに草…後刻に至つて…いて二十歳前後の美人が全身粉微塵になりて轢死し居たるを發見したりとの事なれば該左腕は轢死女の腕な…

◉記念文庫圖書 釜山御大典記念教育文庫は釜山圖書館階下に設置する事に決定し十三日開館式を擧行せるが十二日迄に購入…

◉滑稽な喧嘩 熊本縣飽託郡…正寄町東國通…等重なるものなりと 横手村京城本町二丁目居住店員見習…雙方共行過ぎ約一間許離れたる際兩人共同時に振返り見顔合せたる所雙…したるも相互に睨合ひ…罵言にて…

◉飛乘の失敗 京城蓬萊町四丁目精米商金彰培(三〇)は十三日午後三…本町署に引張られたり…及び頸部を電柱に打ちつけ倒れたるより即時セフラス病院に擔ぎ込みて應急手當を施したるより生命に別條なし

豫報 くもれ

人に知られぬ苦心談

大隈伯の二階段=大嘗宮建設の苦心=膳屋の臼と杵=撲盃と脂燭

大禮期に入り聖上の行幸に先ち御所内外の設備は整然として整つたが其内隠れた事柄を擧げて見ると

■首相難關の階段■

十日紫宸殿の儀に就き大隈首相には紫宸殿の西階を下り其南庭に北面して立つ、その時嶐に高い二人の人杖が首相を擁し壽詞を奏する場合には南階を昇降する等最も困難であつたが殊に殿内から西廂に出る敷居は餘程高くて通常人には左程困難でもなけれど隻脚の首相には之が一大難關だ大禮使にても其困難を察して西廂の最北端の敷居から紫宸殿の外縁に二段の階段を作りてヤツと安宅の關を通過する事になつた

■大嘗宮建設の苦心■

本日の大典を擧させ給ふ大嘗宮は總ての御建物中一番苦心を要したものだが其よりも心配したは神域内に於ける樹木の處分だつたと云ふ何しろ名に負ふ仙洞御所の跡だけあつて老松の繁り合つた森をムゲに伐り捨てるに忍びぬのみならず幾株の老松は神域内に無限の靈味と雅致とを加へる、又悠紀方膳屋の傍にも一抱へある椋の木があつてこれを伐採せずに濟まさうと非常に苦心を要したさうな序に言ふは悠紀主基兩殿の中間にある殿外小忌幄舍の事だこれは幄舍の西手に白地の壁代を懸けられた場合は悠紀殿供饌の時で幄舍の東手に白地の壁代を懸けらるゝ場合は主基殿供饌の時である、又小忌幄舍に用ゐらるゝ椅子は竹製で雅致に富んだものである、大嘗宮の御建設に付いては明治天皇大嘗宮御造營及び古代の大嘗宮の御造營を御參考に供せられたのであるさうな

■膳屋の臼と杵■

悠紀主基兩殿供饌の際稲舂歌を謳ひ神饌を調理する膳屋は萱葺で白の御帳を張繞らし臼と杵と己くからチャンと膳屋に備へられてある此の臼は松材で高さは約三尺五寸、上は八角形で中央部が較細く底部は又擴がりて居る、杵亦松材の圓形に中央部は細くなつてある、稲舂歌は雅樂部員これを奉仕し掌典掌補御神饌を調理する

■撲盃と脂燭■

大嘗祭の際行はるゝ神饌行列の際には矢張今回も脂燭を用ゐらる、脂燭は松のヒデであつて松の木は長一尺五寸徑三分に丸く削り先の方は炭火にて燻りて黒くこがし油を引き廣さは萬一脂燭の燃さしが薦の上に落ちてはとの懸念から土器を使用される、これは伏見陶器組合で謹製した、この撲盃は口が細くて底が廣く脂燭の燃えさしたのはこの撲盃の上に落すので撲盃は臼の廠絲にて首にかけることになつて居る 陛下が廻立殿から悠紀主基兩殿に進御になる際には式部官左右各一人は長さ三尺程の脂燭を執るがこれは左手を下にし右手を上にして進むのである(京都特派員報)

■黄菊花婦人會の設立

日本婦人の民國人士に嫁したる人々と民國婦人の久敷日本に在留せる人々とは今回黄菊花婦人會を創設せり、北京に於ける此等の在住者は約二百餘人ありて孰れも地位ある人々の夫人なり、同會は去八日午後二時中央公園春明殿に於て發會式を擧行せり不幸此日は風力甚だ強く砂塵人を襲ふの天氣なりしが爲めに來會者豫期の如く多からざりしも此興趣深き會合は將來必ず能く發達する事ならん之れ實に日支親交の爲めに欽ぶべきの象兆と謂ふべし、寫眞は即ち發會式の來會者なり

◉方魚津の漁況 頗る殷賑を極む

慶尚南道蔚山郡方魚津は例年九月下旬より漁船蝟集して非常の殷賑を呈し鯖鰆等の漁獲又尠からず本年も已に鯖縛網四十二組(一組六七隻)人員二千六百人、巾著網二十二組人員八百八十人、鯖流網六十隻人員二百四十人、魚運搬船百五十艘人員八百人合計六百八十隻人員四千五百二十人に達する船舶乘組員等が同所を根據地として迎日灣沖合及び方魚津沖に於て盛んに出漁しつゝ有るが就中

▲鯖漁獲 は九月上旬より漸く開始され十、十一の兩月は最盛期なるを以て前記の如く縛網、巾著網漁船六十五組入港したるが中五十三組は内地より十二組は朝鮮在住の内地人にて何れも十一月頃に至る迄該方面に於いて出漁に從事しつゝある由にて昨年同期中に於ける水揚高は縛網にて平均八九千圓に達したるも本年は例年に比し非常の豐漁なるにも不拘個人としての漁獲高は非常に減少を來し初期より本月上旬末に至るの期間中只纔かに千七八百圓巾著網も亦六百圓内外に過ぎざる由にて十一月末迄の豫想高すら半額に達せざる狀態なりと昨年との比較如左

		本年(十一月上旬迄)	昨年
縛網	最高	五、〇〇〇圓	一四、五〇〇圓
	最低	七〇〇圓	五、〇〇〇圓
角縛網	最高	三、〇〇〇圓	七、〇〇〇圓
	最低	一〇〇圓	[illegible]

昨年中の鯖漁は十月末に於て六百八十萬、十一月末八百五萬にて網數の最も多き時すら十八組に過ぎざりしを以て右表の如き好成績を擧げ得たる者にて本年は已に初期より一千萬尾餘を漁獲し乍ら網數の昨年に二倍したるより反比例の結果を招致したるなりと加之價格も亦下落して最高四錢最低六厘五毛なりしが一般に下弛みの氣味にて不漁の昨今すら餘り吊上げの模樣無かりし程なりき

▲鰆は例年 十二月より二月末頃に至るまで方魚津沖合に於て盛んに漁獲さるゝも目下は迎日灣以北より漸次南海岸方面に向ひ南下するを以て鰆船は何れも方魚津を根據地として丑山江口九龍浦等に出漁しつゝ有るが本年は非常の豐漁にて例年平均の漁獲高を超え得べき豫想なりと

▲鯨は屢々 報道したる如く蔚山沖合に於て捕鯨會社所有船デックス、第二東郷、晴、稲妻九隻が十月中迄に三十一頭を十一月に入つてより數頭を捕獲したり

◉海洋調査 釜山近海及び長崎間の海洋調査に從事せる富山縣水産講習所練習船高志丸は漁撈長技手與儀宜氏外練習生乘組同縣と釜山間の日本海海洋調査を爲し十日釜山に入港直に首記の調査に懸るべしと

群山奉祝 大提灯行列 本社群山支局主催

愈々今十五日午後七時より本社群山支局主催市民奉祝大提灯行列を擧行す集合場所左の如し

群山小學校運動場

◉元山より

▲元山奉祝會にては十七日の大饗第二日をトし官民の重なる者多數發起となり午後二時より大芳樓の後庭に於て奉祝大園遊會を催す由又十六日は元山府廳に於て御饗饌を賜はるべき日なれば村地府尹は同日午後二時より官民の重なる者三百名を府廳構内に招待し奉祝宴を開く由

▲元山築港工事の近況を聞くに總埋立地三萬九千二百三十六坪に對し四毛弱の出來にして甲種物揚場基礎捨石工事の全長百十間に對し九厘の出來なれば總築港工事の上より見れば僅かに五毛の出來高に過ぎざるも本月に入りて連絡道路工事に著手するあり其他準備事業たる載荷力試驗は既に終了し現に續行中の海底地質檢査は岸壁及び防波地點に於ける試驗を了はると共に浚渫地點に於ける檢査を續行中なり一方本月に入りて著手せし道路工事は本年中に入札に附せし部分を完成し明年一月より三月末迄の間は直營にて砂利撒布を爲すべしと

▲元山監獄に服役せる囚徒中減刑の恩典に浴せる者百九名あり、此の内刑期の四分の一を減ぜられたる者七十四名(内婦人十九名)刑期の二分の一を減ぜられたる者三十五名(内婦人三人)にして特赦となりし者一人も無し、此等の囚徒中内地人は男子十五名婦人二名にして減刑の宣告を受くるや囚徒は何れも聖恩の難有きに感泣し居れり

▲元山守備隊より滿期除隊となりし守備兵下士以下百四十五名に陽德守備兵七十五名は去る十日午前七時半運輸部棧橋艀艘の加賀丸にて内地に向け出發せり、埠頭には官民及び學校生徒等の見送り多數にして盛況を極めたり

◉連絡船上陸客 十三日午前釜山入港高麗丸一二等客 一等(二名)外人(二名)二等(十八名)掘三… 矢野義男、松原大猷、大島好太郎、河野四郎、常包ちか、園はつ、篠原くま、田中鋼代吉、峰かれ子、福島しめ子、寺田さかの、同耕之助、久住きよ、須賀靜枝子、佐野さよ、由良克之助、佐野好平、濱田安太郎、三等(百三十八名) 十二日午後釜山入港壹岐丸一二等客 一等(一名)米人(一名)二等(六名)相良貞二、五島勝輔、和田傳次郎、波路幸一郎、原田米吉、合得沫三郎(四十七名)

演藝案内

壽館 本町 電話一〇五〇 毎度御引立を蒙り居候本町二丁目壽館此度小生に於て引受け經營仕る樣相成候に付ては此段永年の御引立に預り度候就ては此度東京浪花節斗吉田辰右衛門師及び講談此後の御愛顧…合同一座を自親の爲めと此後の…爲め本日より向三ヶ日を限り木戸代共無料御來館の程…御消遣に供すべく候間續々御來館の程願上候也 壽館經營者 小島源之助

御成座 町 電話二九一 第五十八回替藝題 大好評を博したる歩兵團一行の亂れ髮劇は今明日限り本日の場割左の如し 亂れ髮 後編 梅香の居形、演寺の海岸、錦花園之放火、天主寺の場、吉住の屋形、… 同警察署前、笑香の居形、和歌の浦声送郡揃開 大人八錢均一 上場行次第にて正五時より開演す

櫻井町 大正館 電話八七三番 〇十一月十一日より寫眞全部取換〇大典の花(御大典に因み特に映寫す)〇滑稽 濡れ鷺〇喜劇 〇新派悲劇 迷の果 全三卷▲仏國 アンプロジョ會社傑作◉探偵活劇 黑鬼 全三卷六千尺 黑鬼破れ何者影の如く來り… 美人の如き… 悪漢の排戰は事態益々混沌に陷り人心恟々として…◉實寫 御即位御大典之御盛儀之實況▲第一報 二重橋御發…京都御出發…◉新劇 明鳥十勇士 全三 卷五十八齣

本町一丁目 有樂館 新築落成 電話二六六 〇十一月八日より優秀なる新寫眞提供〇實寫 瑞西ペルの風景〇喜劇…〇劇 三之助…▲日活會社の傑作にして劇界の無形たる…◉新派正劇 幼な顏 全三卷▲伊國 メステル會…◉活史劇 頑國 最近の大作たる未曾有の大寫眞 全三卷天然色原名武裝せるティロル▲東京やまと新聞連載… 大作たる◉女俠客血櫻お駒 全五十場 …

明治町 浪花館 電話二六〇番 虎丸今晩の演題(十四日) 前席 樂術の譽名作左小刀(野晒し髓の一席) 中席 天下一品 義士討入 長講一席 二席 昨夜の續 四ッ谷怪談ぜげん長兵衛發狂 右三席長段に虎丸口演仕候 〇午後六時より開演

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社 朝鮮一手代理店

龍山停車場前 龍光館 電話(龍山)四一番

十一月十二日よりの新寫眞 泰西大活劇 鐵山王 伊太利に於て撮製 第四報到着仕候 泰西小兒劇 命が…

▲廣告▼

月やく 月やくなき方は三錢切手封入御手紙下さい身體に害なく通經する良法を御知らせ致します 京城神田錦町三ノ一九

胃病新藥 マーゲン 胃腸快治法無料進呈 大阪本町五丁目 田村

初秋新涼の好讀物

德富蘆花著 自然と人生 定價二十五錢

德富蘆花著 青山白雲 定價二十五錢

德富蘆花著 不如歸 定價四十五錢

德富蘆花著 青蘆集 定價二十五錢

馬場恒吾著譯 獨探日記 定價金五十錢

早川貞水講演 赤穗義士 定價四十五錢(全一冊·附六)

伯知·如燕講演 御前講談 定價七十五錢

山路愛山著 乃木大將 定價八十五錢

村上浪六著 八軒長屋 定價二圓五錢(全二冊)

大賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番 電話六六〇番 ▲郵送料本社負擔▼

奉祝御大典

釜山精米業組合(いろは順)
釜山港大廳町 磯谷精米所 電話一四二番
同 岸本町 石川精米所 電話八二〇番
同 埋立新町 土肥精米所 電話七四五番
同 辨天町 大池精米所 電話一〇四八番
同 草梁 草梁精米所 電話九七三番
同 埋立新町 那須精米所 電話四二九番
同 西町 上田精米所 電話三五九番
同 絶影島 共盛精米所 電話絶影島四番
同 幸町 釜山精米所 電話二二一番
同 本町 品川精米所 電話二〇七番

奉祝御大典
朝鮮釜山土城町一丁目三十番地
朝鮮瓦斯電氣株式會社
電話番號 瓦斯 九四九 電氣 一〇 / 常務室 四〇九 會計 四七二 / 庶務 / 工務 倉庫 / 發生所 六〇六 草梁 九六六 / 絶影島 六一五 東萊 釜山鎭 四 私設

奉祝御大典
釜山大廳町三丁目
山西義一商店
店員一同
電話七〇四番 振替三二〇番

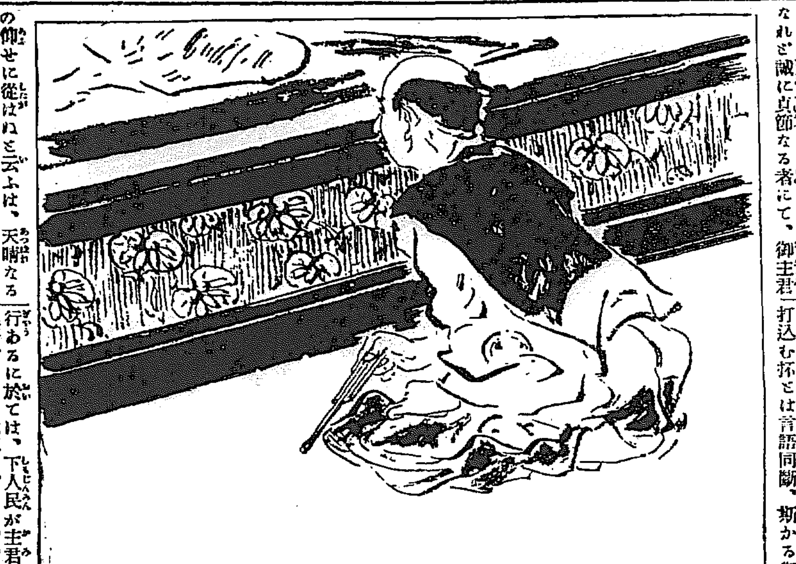
奉祝御大典
釜山南濱町
釜山食糧品株式會社
電話四一番

越後大評定

第四十四席　早川貞水口演

小栗美濃守の諫言

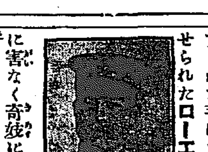
忠直公御覧になると、御自分の思ひを掛けたる者にて、庭の松の木に括り付け、何うでも心に従へと迄仰せられたる、松屋三右衛門娘、萬屋金三郎の妻千代で御坐いますから、愕然あそばして　忠『是は如何いたした　美『恐れ乍ら、皆かくす皮には誰も迷ふらん、皮破れては斯くの姿よ、と悽骨を以て一休禅師の御諭しが御坐いました通り、姿色容貌の美きに御迷ひ遊ばし、御無體なる御戀慕は何事で御坐る、尤も此千代は町人の娘なれど誠に貞節なる者にて、御主君の仰せに従はぬと云ふは、天晴なる心掛、御城下町人の娘に、斯かる志の者これあるとは、全く御當家の御ため目出度きことゝ存じ奉る、然るにあらうことか、主君は御威光を以て主ある女を手込めになさん抔と御心掛け遊ばすこと、由々しき御大事、此の如き事のある上からは、定めし数々の御悪事も是あることゝ存じ奉る、今日より御改心あらば、公儀よりの御咎めも是なく、御領分御安堵、臣下一同無事、御當家萬歳にて益々御武運長久と存じ奉る、然れども斯かる御亂行を續け給ふ其時は、忽ち公儀より致して、御咎めを被り御家に傷つくるは必定なり、殿は一代、御家は末代、いよ／＼今日より御改心これ無きに於ては、恐れながら美濃、この所にて御主君を弑し奉り、我身も鼓腹切つて御供仕る、殿の亡き後は家の老臣取り計らひ、御幼君を以つて家督を願ひ、御家は萬代不易たるべし、今日美濃登城なしたるは、主君の御行跡御役めを辭はんがためなり、御聴入れ下さるか、其とも此まゝ御亂行を續け給ふか、二つに一つの御返事伺ひたく、貞女千代の首を持參いたして、御願ひ申し上ぐる儀、斯かる婦人が自害を致し良人に對して操を立てると云ふも、皆御主君の御心から出でたる次第、その上ならず松屋、萬屋へ對し詮議立て、金兵衛を捕へて水牢に打込む抔とは言語同斷、斯かる御亂行あるに於ては、下人民が主君を仰ぎ奉らざるは必定、斯かる御行ひを以てなどて御領分の治まるべき、私の此決心も御家のためには換へられぬより已を得ざるの次第、如何で御坐る』と、ヂリ／＼ッと詰寄つた其有様は、蘂髪逆立ち眉尻を切上げ、短刀の柄に手を掛け、御返答に依つては、眞實に刺違へんの勢ひ、流石に剛毅なる忠直公も、此美濃守に睨み詰められた時は、萎縮み上り給ひ、忠『美濃、予が悪い、前後忘却いたして是までの行ひ、今日より悛め、決して今後は斯様な事は致さぬ、赦せ　美『ハッ、さては老人美濃の申し上げたる事、御聴済み下さるか、　忠『確かに承知いたした、予が悪い、赦せ　美『ハー、ハッ』もう如何に覺期して恐りましても、予が悪いと仰せですから　美『早速御改心あそばしたること、誠に有り難く存じ奉る、それにて結城中納言秀康公の御惣領に御生れ遊ばしたる名家の御血統、必ず今後は御亂行の儀御止り下し置かれたく、又美濃只今の御無禮、是も御家を思ふの忠心より出でたること、平に御容赦下されたく』是から美濃守一同を呼び『各御上の御傍に在るからは、惡き事は如何やうにも御意見申上げるが臣下の道なり、御威光に恐れて何事も申し上げぬと云ふは、却て是れ不忠の至り、以來各位方、主君に悪事を御勸め申し上げたる者は其身割腹、其家改易申し付ける、左様御承知あれ』



十一月十六日九星　舊十月十日辛亥　本命四緑誕生先勝

●四緑●先込主義の事有日 新事見合北方は吉●五黄●料理づくめの事有日 新事手控萬事は吉●土工は妨なし▲六白 はんまな事有日 新事手控萬事は吉▲七赤 山氣を出して損となる事有日 注意新事手控常の事は吉▲八白●平運の日さ聲も新事手控の方吉 萬事は妨なし▲九紫●笑て効を奏する日萬進で大利 有待人臨音を傳へ來る▲一白 大利の日 轉居入學金談名弘家作求職結婚醸造始め皆吉 物に障の日▲二黒 間尺にあはぬ事有日 新事手控萬事は吉 婦人と約束を忌む▲三碧 めでたき日 轉居開業入學金談求職嫁娶人建築名弘皆吉

けはやすほふ
毛生法



醫學士船津頌二先生が實驗の上其毛をはやす効能効大にして現世最もすぐれた毛はえ藥であることを證明せられたローエル液は禿頭病ぬけ毛うす毛腫物毛生えぎわ其他身體中あるべき所に毛なきに用ゐて皮膚に害なく奇妓に毛をはやしぬけ毛を止めますから一度おつかひになつた方は云ふに及ばず其特異の効果につき東京國民日日都やまと中央新聞以下全國諸大新聞に一齊に報道されて居ます希望の方は遠慮無くハガキで申込次第くはしい説明書封書で進呈す
東京芝區愛宕町二ノ一　電話芝一八七四番　東京藥院

月さらえ　一日丸

一日丸は左の諸症に最も不思議の効顯る…
▲月やく不順を…調ゑ
▲月やく不通を…通じ
▲月やく困難を…治す
■右症より起る頭痛、眩暈、嘔吐、便秘、下腹、腰、子宮痛等を治す
（價一包一圓・半包五十錢・小包二十錢・大包四錢）
本名古屋廣小路小林盛大堂　家大阪市平野町小林大藥房
▲賣…全國各藥店に有

奉祝御大典
寫眞器及材料藥器　自轉車並に萬年筆
釜山本町一丁目　岩瀬商店
電話七五五番　振替京城七八八番

奉祝御大典
釜山西町（陳列館前）
歐洋堂藥局
藥劑師　中井寅吉
電話九五八番　振替京城二二一番

奉祝御大典
電車開通
東萊温泉場　蓬萊館
▲遊獵の好時節　▲客室整頓
▲内外貴賓の好評嘖々

奉祝
釜山辨天町二丁目
大山合名會社
店員一同

奉祝御大典
内外雑貨卸商
釜山本町二丁目
Ⓣ 近江屋支店
店主　戸所他吉
店員一同

奉祝御大典
煙草、洋酒、罐詰、卸商
朝鮮釜山港長手通り
㊏ あづまや商店
電話四三五八番　電信略（ア）
振替口座　大阪二二六九番　京城三九番

奉祝御大典

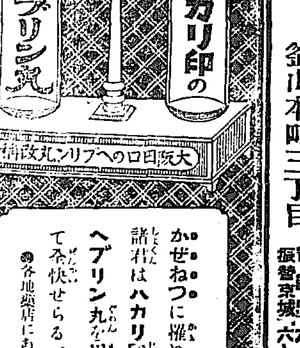
●釜山雑貨商組合●

（イロハ順）

釜山辨天町二丁目　伊藤商店　電話三六二番
同　幸町一丁目　六島支店　電話七五九番
同　辨天町二丁目　西川井筒號　電話一九〇番
同　辨天町二丁目　原田商店　電話七〇七番
同　本町二丁目　近江屋支店　電話八〇二番
同　辨天町一丁目　高野屋商店　電話四八一番
同　本町三丁目　ツルヤ商店　電話一〇〇二番
同　幸町一丁目　長岡商店　電話八三一番
同　辨天町二丁目　中野健商店　電話八五九番
同　辨天町一丁目　山口屋商店　電話四五五番
同　辨天町二丁目　福榮商會　電話四三三九番、一二三番
同　本町三丁目　近藤商店　電話四七六八番
同　辨天町二丁目　淺海商店　電話四九二番
同　幸町一丁目　あかしや商店　電話四八六四番
同　幸町一丁目　讃岐商會支店　電話六六九番
同　西町二丁目　明治屋本店　電話三四八番
同　幸町一丁目　トミヤ商店　電話六四番
同　西町四丁目　廣瀬商店　電話七七三番

建築用浪板　平板軒樋　ストーブ　各種煙筒　附屬器取付　テ掃除請負　責任受業
京城黄金町二丁目（電話二五四五番）
鉱力商　田中吉太郎
御用の節は御一報次第迅速に取計可申候

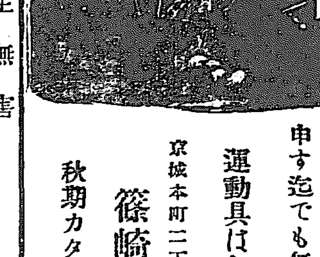
全備之覇王
京城黄金町四丁目（電話二六五二番）
日之出護謨商會
家庭内職生大募集急告
▲弊會は朝鮮に於ける新案美術ゴム品製造界の元祖本業は土地遠近老幼男女山間僻地を問はず自宅で出來資本十圓内外月收廿圓以上其製品弊會引受永遠取引年中無休府外輸出前途有望の好職業志望者は來店又は郵券十錢送付の上見本就業案内書進呈半北諸氏新義州特約店三友社へ
●大正式自轉車各タイヤ人力車復舊修繕機械大賣出
▲弊會發案の大正式タイヤ修繕機械は従來内地等に在る在來式機械と全く異り大改良天下無双の最新式機械にて業者は勿論家庭用最適當志望者は來店又は郵券四錢送れば就業案内書進呈今回百名限り左の大景品付販賣す
●自轉車景品付大賣出急告
弊商會發賣の自轉車日之出號インバイヤ號タイム號バード號堅牢無比の天下一品而も價格低廉此際開業披露の爲め左の大景品付大賣出す
□景品一等自轉車貳臺二等修繕機五臺、三等タイヤ五組、四等ベル十個、五等ゴム糊百個空籤無し



かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

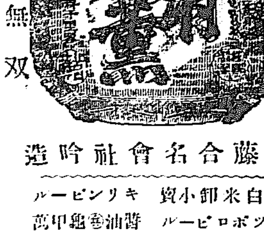
日鮮向陶磁器製造卸問屋
㊍ 森虎商店
釜山本町三丁目
電話六七四番　振替京城六七四番

奉祝御大典
綿糸布商
釜山本町三丁目
㊇ 青見洋行
電話二〇〇番　振替京城一八〇番



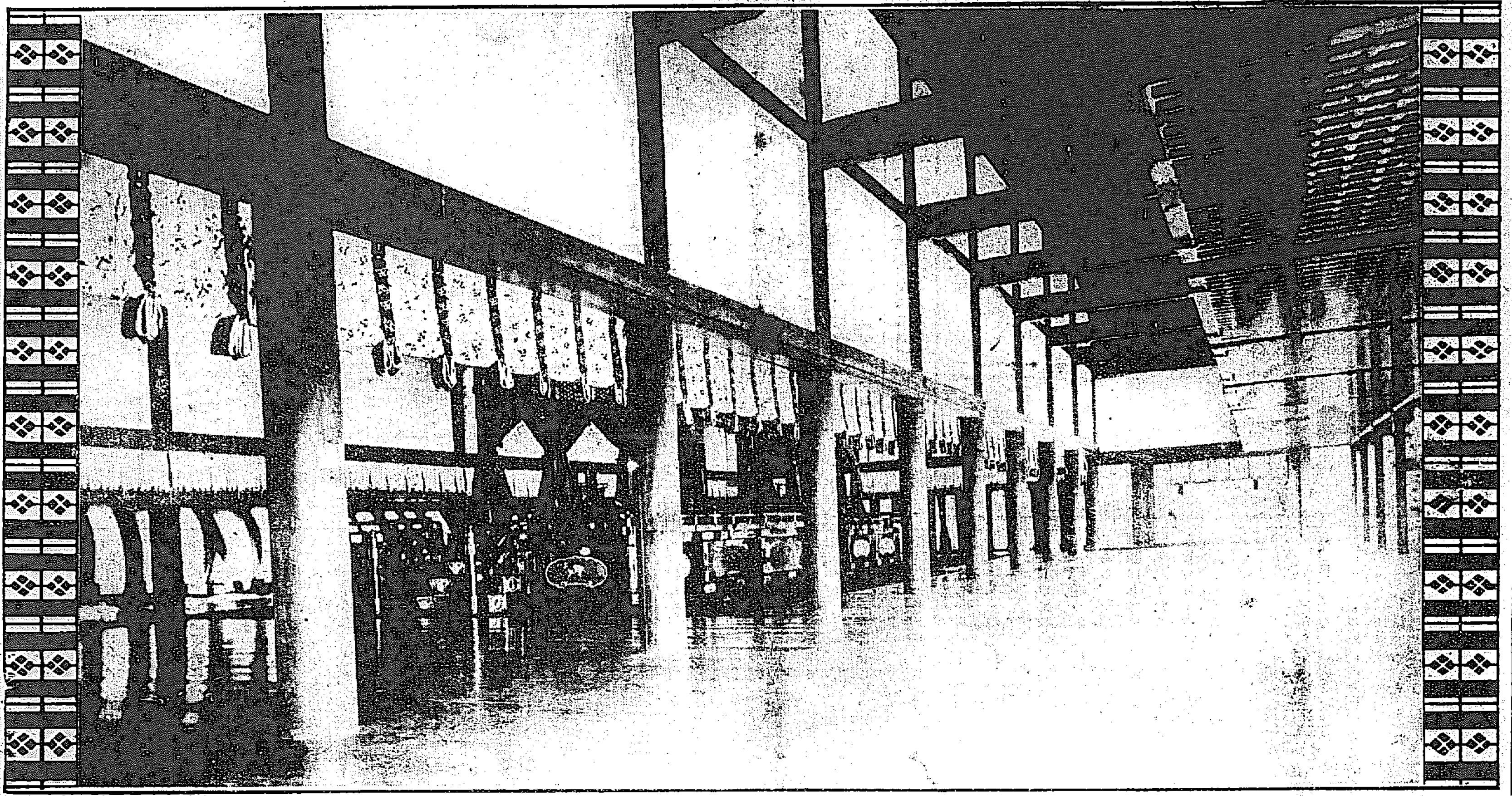
申す迄でも無く運動具はシノサキへ
京城本町二丁目
篠崎運動具店
秋期カタロク進呈

無双醇良清酒



衛生無害　品質無双
首藤合名會社吟造
精白米卸小賣　キリンビール
サツポロビール　醤油㊂鮎甲萬
シトロン　三矢平野サイダー　各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黄金町（電話一一七一番）

京城日報 第三版



寶祚之隆當與天壤無極者矣

大正四年十一月 松方正義書

大典御寫眞 □紫宸殿高御座(上) □大嘗宮渡御之圖(下)

聖上陛下益々御健勝

某侍従謹話

天皇陛下には六日東京御發輦午前六時と申すお早き時間なりしより前夜來何吳れとなく御多端にまし〳〵當夜は殆ど御寝も遊ばされぬ程で侍臣は只管恐懼に堪へず畏れ多い御事であるが、玉體の御健康に就て御心配申上げない者はなかつたのである、所が當日は御列車中にも別段御休憩の御事もなくて御疲勞の御模様サラ〳〵御見受け申せなかつた、名古屋離宮での御寝は夜の十一時頃でおはしたのに、七日は京都の皇宮に向け御發輦の日とて朝早くより其の御準備に御忙がしく侍臣等はかへす〴〵恐懼に堪へぬ次第であつたが御列車中はいとも御機嫌麗はしく、侍臣等に對はせられて天候の事や老官の健康のことなど御尋ねあつたのである、夫れから餘程の健康體の者でも大禮服を一日著ければ隨分肩腰の凝るのが通例であるのに 陛下には京都御著後、前後三日間御正装の御姿重々しく、而かも何かと御氣をくばられ給ふにも拘はらず玉體愈々御健勝に亘らせられ御食事の如きは、平日よりも一層進ませ給ふた程である、殊に吾々侍臣の感佩措く能はざりしは京都御著の時御正装を解かせ給ふや如何を伺ひ奉つたのに 陛下には御首を振られ三時半より行はせられた賢所渡御の御儀終らせらるゝまで御正装の儘御坐所の御椅子に寄らせられ給ひし御事である(京都特派員)

無限の感慨に堪へぬ

松方侯爵謹話

眞に御目出度い事で御式は崇高神嚴に些の澁滯なく御擧行せられた事は偏に 陛下御稜威の致す所である登極令の御制定に就ては 明治大帝に於かれても一方ならず宸襟を悩まされ明治四十二年同令の發布を見る迄には自分達も種々御諮詢に奏答した事である、自分生存中に此の盛儀を拜し 今上陛下の聖壽萬歳を祝すと同時に無限の感慨に堪へない次第である殊に 皇太子殿下の御參列に就き何かと議論もあつたが自分は此の曠古の御大典に殿下の御參列あらせらるゝは尤も當を得たる事と信じ其旨奉答した御幼少の殿下が無事御大役を果せられたので畏ながら安心した 陛下御一代の此の盛典が秩序よく森嚴の裡に目出度擧行せられた事は大禮使總裁宮初め諸員の一方ならぬ御心盡しと信ず(京都特派員)

……四百十九……に石炭及び輸……能はず知る推測の方法も……き事なから堆積増減率は到着増より弱きを以て假に大豆全到着減少二十五倍……河湖航に堪さる大型船は南洋等の遠距離輸出を主として大連より輸出す特産堆積多き二三月に亘りて方若多しとは想像し得ず或は二萬五六千噸前部大堆積時に於ける石炭堆積三萬三千四百十八噸を引く時は本來倉亙る大堆積を生じたるわけなるが本冬の倉庫は現在三萬三千坪弱に加ふるに建築中の寺兒溝埋立地の且つ通路其他の空地を要する事多きを以て通算する時は此等は餘程差引かざる可らず當務者の談によれば現中の特産主に大豆、高粱、包米四萬八千五百九噸は野積となるの勘定なり

◎仁川大嘗祭當日祭 仁川 ……仁川の……當日……業會議所に於て十五日午前十時より奉祝餘興に關する會議を開く筈

永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
入院隨意 酒井婦人病院
電話二六〇〇番

十二月號
トモダチ
文學士寺田精一先生監修
一冊十錢郵税五厘 一月一回一日發行 半年分税共五十八錢
▽幼いお子様方のおトモダチとして大好評の面白い綺麗な教育繪雑誌
▽附録には手工用義士兩國橋引上の美しいノゾキパノラマを添へました
發行所 東京麹町區富士見町一丁目 振替東京三〇三六八番 一葉社 電話番町四〇八八番

野に！山に!!
今や狩獵期は熟せり
自轉車と銃砲火藥は弊店に御用命被下度精々勉強可致候正價表御申越次第進呈仕候
京城明治町一丁目(電話三〇二番)
瀧川銃砲自轉車店
支店 太田春日町

新案特許
祖先崇拜は日本國民の美風にして人道精華の骨髓なり◎見よ本社獨得の新案は父祖の相貌を眼前に偲ばしめ崇敬欽慕の信念を添からしむる現代文明の要求なり

◎佛壇佛具類は品質精巧價又廉
◎香奠代用に金寫眞位牌切手調進
◎代理店希望の方は御申込相成度又定價表は無代遞送
東京赤坂青山南町三ノ一 金寫眞位牌株式會社 電話芝三三四八 振替二四五二三

消化と毒けし 仁丹
御大典の祝賀に人込に 仁丹 是非必要
金言 忠臣は國ある事を知りて家ある事を知らず(先哲)

金露
攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町四丁目 發賣元 前田酒店

大嘗祭

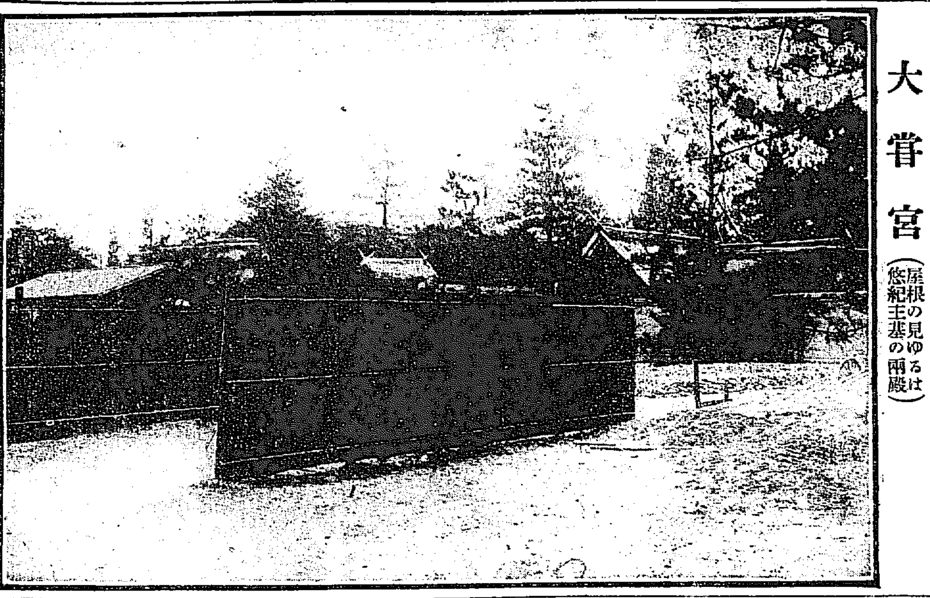
十四日午後四時二十分より翌十五日暁かけて大嘗宮に於て大嘗祭を行はせらる。親祭正に十二時間に亘る

●悠紀殿供饌儀（京都特電）

十一月十四日、秋の日脚の短くして午後四時といへば、はや仙洞御苑の樹々を罩めて、やがて燈ともし頃の近き同二十分より、神代ながらなる森厳の大嘗宮に於て、いとも尊き大嘗祭は行はせられたり、大嘗宮内の悠紀殿、主基殿共に天照大神を始め奉り天神地祇を祭り　天皇陛下親しく悠紀殿に於て夕御饌を献じ、主基殿に於て朝御饌を献ぜられ、兼ねて天皇陛下にも召し上がらるゝ御祭り也

頓宮著御

當日早旦より大嘗宮即ち悠紀殿、主基殿、神門、廻立殿、膳屋、廻廊幄殿、小忌幄舎を其れ〳〵裝飾して神座を奉安せりやがて午後二時ともなれば外門を開きて皇宮警部之れを警固し、文武高等官有爵者並に夫人等禮装を整へて朝集所に參集し、東宮殿下を始め奉り各宮殿下は頓宮に入らせられやがて　天皇陛下出御、頓宮に著御あらせらるゝや、儀仗兵は御門の外に整列す、此時東帶卷纓緌色の闕腋袍を總著し、下具に單下襲、半臂、大口、表袴、石帶を著け、平緒の附いたる劍を帶び、箭を挿みたる胡籙を負ひ、弓を執り淺沓を穿き、其の上に小忌衣を著け、白陰の蘰を冠に著けたる典儀官二十人は、左右各々三人宛南と北との兩面神門に著き、左右各々二人宛は東西兩神門に著き、其れ〳〵衛門の任に當る、次は左右各々六人宛の典儀官南面の神門内に挿に進みて威儀の位に著きて儀容全く整ひたり


大嘗宮（屋根の見ゆるは悠紀主基の兩殿）

神座奉安

やがて黒袍の東帶を著けたる岩倉掌典長、九條掌典次長は掌典に命じて悠紀主基兩殿の神座を奉安したる後ち岩倉掌典長は竹の目籠に入れて榊葉をさしたる繒服と麁服とを各殿神座の北方に置けり、而して後ち掌典の時火炬手と稱する衛士等庭燎を點す、時既に十四日の日は暮れて仙洞の森暗に落ち、殿上には御燈火瞬きて澄み渡りたる秋の夜の庭には燎火映じて奉仕の人々の闕腋の袂を照らす神々しといはんか、尊しといはんか

御衣替へ

時は移れり、やがて　天皇陛下には靜々と頓宮より大嘗宮の傍らなる廻立殿に渡御あらせらる、拜し奉れば帛の御服を召させ給ふ、やがて御袍御袴の上に天羽衣を覆ひ奉り、殿内東方の御湯槽に下り給ひ、天羽衣を脱ぎて明衣を覆給ひて西の室に還御あらせらる、侍従の奉仕にて御祭服に改めさせらる、御祭服は清潔を主としたる御服にして白の生絹、無紋下の横に髻を取りたるものと拜す、御衣替終らせらるゝや侍從より御手水を供し御笏を奉る、此間供奉の各宮殿下を始め奉り、波多野宮内大臣、鷹司侍從長、戸田式部長官以下侍從式部官何れも東帶縫腋帶劍の上に小忌衣、日蔭蘰をつけたるに更め、參列の文武百官は南門の新門外なる幄舎に參入し著席せり

稻舂歌

此の時膳屋にて嚠喨たる奏樂興る、是れ稻舂歌にして掌典は掌典補を率ゐて神饌を調理す、斯くて本殿南庭の帳殿に庭積の机代物を置く、是れ　陛下が親しく神前に献供遊ばさるゝものにして擧國奉仕の眞意義を徹底的に實現せしむべく全國各地に於ける水陸の特産物を悉く網羅せられしもの也

天皇渡御

御準備全く整ふや　天皇陛下には戸田式部長官波多野宮内大臣の前行にて御劔御璽奉仕の侍從を左右に隨はせられ御後ろに侍從御菅蓋を翳し參らせ鷹司侍從長、内山侍從武官長以下御後に候し、伏見宮殿下を始め奉り各宮殿下、大隈内閣總理大臣以下各大臣、山縣樞密院議長、大山内大臣等供奉して　陛下には玉歩徐かに長廊下を渡御あらせらる、やがて悠紀殿著御遊ばさるゝや直ちに南階を昇りて外陣の幌内に進ませ給へり

御代拜

陛下御著座と共に鷹司侍從長、岩倉掌典長は南階を昇りて簀子の東部に伺候し各宮殿下を始め奉り各國務大臣等は殿に昇らずして南殿に設けられたる小忌の幄舎に著床し、次で東帶帶劍に小忌衣を著けたる大禮使高等官は樂官を率ゐて本殿南階に著き次に悠紀殿所在地の地方長官たる松井愛知縣知事は其率ゆる樂官をして地方の風俗歌を奏でしめたり次で　皇后陛下並に東宮殿下の御代拜あり各宮殿下並に各妃殿下の御拜禮終はらせらるゝと共に膳屋にて調進したる神饌其の他は南庭の廻廊より行列整然として持ち運ばれたり

神饌供御

此の行列こそ大嘗祭の一盛觀にして掌典補左右各一人脂燭を乘り、第一に海老鰭槽、次に多志良加、次に女官は刀子筥、次に同じく女官御巾子筥、次に神食薦、次に御食薦、次に御箸筥、次に御枚手筥、次に御飯筥、次に鮮物筥、次に御菓子筥、何れも女官之れを捧持し、次に鮑汁漬、次に海藻汁漬、次に空盞、次に御羹八足机、次に御粥八足机、次に御直會八足机以上何も掌典補に依りて捧持せらる

御告文

右の行列本殿に進むや、此の時削木を執りたる掌典、南階の下にて警蹕を唱ふれば、樂官神樂歌を奏すると共に　天皇陛下には外陣の御座より内陣の御座に進御あらせられ、陪膳の女官より御手水を受けさせられ畏くも　陛下御親から神饌を御供へあり、御笏を端して御拜禮の後、即位式終りたれば爾後皇神の擁護を祈願す、國土平穩の爲め新穀を供し給ふ御意味の御告文を奏せらる、右訖つて御本座に復し給ひ御直會の御箸を執らせられつゝ供奉の御膳を召し上られ、いとも尊き大嘗祭悠紀殿の御親祭は滞りなく御終りを告げさせ陛下廻立殿に退御遊ばさるゝと共に諸員退下せり、時方に午後十二時に近く、御庭の燈火明滅して一しほの床しさを添へたりき

◎老臣を勞り給ふ

聖上陛下には老臣を勞り給ふ聖旨より山縣公、松方侯、土方伯の三氏に對し十四日夜の大嘗祭には參列に及ばずとの勅諚ありたり（京都特電）

◎地方功勞者 又藍綬章御下賜

地方功勞者に對し十三日更に左の如く藍綬章御下賜されたり（東京特電）

長野縣　小山木右衛門
福島縣　清水　清助
福井縣　澤本帝次郎
北海道　藤山　要吉
福岡市　七里　從是

◎皇靈殿神殿奉幣の儀

十四日大嘗祭當日皇靈殿神殿に奉幣の御儀は午前八時掌典部員奉仕し御殿を裝飾し九時半在京文武官有爵者著床神樂歌奏樂中に中川掌典御扉を開き神饌其他の幣物を奉りて後中川掌典祝詞を奏し勅使日根野侍從は被袍束帶に劍を佩きて參進親拜し祭文を奏上し皇后陛下の御代拜ありて後諸員拜禮奏樂中に撤饌御扉を閉ぢ諸員退出したり（東京特電）

◎使節叙勳

大禮參列の各國特派使節中未だ我國の勳章を受佩せざる大公使に對し十六日外務省を經て左の如く叙勳の御沙汰を傳へられたり（東京特電）

露國大使男爵　ニコラス、マレスキー、マレウキッチ
英國大使　サー、ウキリアム、カンニンガム、グリーン
佛國大使　ユージエニ、ルイ、ジオルシ、ルニヨール
伊國大使侯爵　グキッチヨリー
叙勳一等授旭日桐花大綬章（各通）
支那公使　陸宗輿
智利公使　ドン、フランシスコ、ゼーヘルボゾー
白耳義公使伯爵　ジオルジ、ド、ラ、ファイン、ルベルガム
叙勳二等授旭日大綬章（各通）
諾威代理公使　ダンケル
亞爾然丁代理公使　フランシスコ、オルチス
叙勳二等授旭日重光章（各通）
葡萄牙臨時代理公使　セザード、メンデス
叙勳二等授瑞寶章

◎英艦增加 超弩級艦十四隻

英國新聞局がデイリーエキスプレス紙の海軍通信員に許可を與へたる記事によれば明年一月までには英國艦隊は新たに超弩級戰艦十四隻を增加することゝなるべし勿論此の隻數は海戰後の計算にして且つ超弩後戰艦以外の軍艦を除けるものなり（倫敦電報）

◎露軍の奮進

露軍は敵に莫大なる損害を與へつゝカメルン地方を前進中なり（露都電報）

◎露公使と袁總統

露國駐支公使クボンスキン氏は十二日午後三時袁大總統に謁見せり其要件は露支崇協約成立後の各種豫備事件にして國體變更問題には何等の關係無しと（北京特電）

◎大嘗祭奉奏の稻舂歌と風俗歌

大禮使にては御歌所御用掛黒田入江兩子爵に大嘗祭當日式場に於て奉奏する悠紀主基兩地方稻舂歌風俗歌の詠進を命じたるが其の和歌は左の四首にして同夜樂官奉奏す（京都特電）

稻舂歌

悠紀地方
八束穂の垂穂の稻を刈り積みて舂くや村人睦み合ひ舂く

主基地方
たまもよし讃岐の山田新代の秋の垂穂の稻や舂くらむ

風俗歌

悠紀地方
君が代を千代もとよばふ松風の音の斷ゑせぬ音きゝの山

主基地方
雲井まで高くひゞかむ里人のつゞみど岡に千代よばふ聲

◎第二回軍需注文 朝鮮皮革會社に來る

曩に露國陸軍省より直接軍需品の注文を引受けたる朝鮮皮革會社にては本月二十日頃を以て最初の契約高たる長靴二十萬足、彈藥盒二十六萬個此價格合計二百五十萬圓の分は全部完全に最初の契約通り引渡しを了する筈なり朝鮮に於て直接外國と取引を爲したるは同社の此取引を以て嚆矢とし早島物産商會が米國車輛會社の大注文を引受けたるもの之れに次げる位にして何れも朝鮮生産品たる牛皮又は莞草を以て製出さるゝものなれば實に朝鮮産業發達の一現象と云はざる可からず而して朝鮮皮革會社が今回の取引は當初より原料品の選擇と製造上に多大の注意を拂ひ專ら大切なる外國の顧客に對して信用を失墜せざらんことに力めたる結果品質、納期共に其契約を履行したるため露國陸軍側にありても多大の信用を博し今回引續き第二期の註文として第一期と略同種同價格の註文を申込み來り此程契約を結びたり納期は大正五年六月なるが原料品たる皮革は勿論染料及び附屬品等全部會社の在庫品にて充分なりと

◎政務總監招宴

山縣政務總監は十四日午後六時半官民の重もなるものを朝鮮ホテルに招待し盛大なる晩餐會を催したり

●土佐紙支店長更迭　土佐紙株式會社京城支店支配人中内松次氏は大阪支店支配人を兼務の處今回京城支店は宇田猶吉氏支配人に山脇武之助氏管理に就任中内氏は大阪支店の專務支配人となり去十二日其披露宴を花月に開催し重なる取引先を招待す

人事消息

▲吉村謙一郎氏（慶北第二部長）十三日出發着任
▲中川庄司氏（農商務技師）十四日安東縣より入京浦尾旅館へ投宿
▲トムレンソン氏（米國實業家）十四日奉天より入京朝鮮ホテルへ

◎天勝の大人氣

松旭齋天勝一座は釜山座に於て十……て淺緑海紅のスカート長き窈窕の美人や玩知のストッキングを露にせし……物なるサロメは技巧の銑鍊されたる點に於て内容の充實したる點に於て……

……道入りて蕃前李蓮花（一七）を敵娼とし……ちに同女を毆り飛ばしたれば同女は……罪として檢事局に送らる

◎自轉車を騙取す

全北生……月二十六日京城鍾路二丁目自轉車商韓聖洙に交渉し自動自轉車一臺普通自轉車二輛（代價四百九十圓）を騙取……

……の細布輸入は七萬四千百三十圓にて前月の七十二萬一千百十五圓に比すれば著しく減少せり是は前月に於て本……せしも一原因なり市場實行は依然……からず相場は單加重三八釉（普通品）一匹二圓八十五錢四端天青芝地甲紗一圓八十錢等なり

京日案内

南大門外蓬莱町鐵道踏切側　産婦人科　内科小兒科　今本醫院　電話二八五一番　863

恩給年金類立替　京城若草町一丁目〇六井出邸内　電話二二六三番　西村商會　857

質店　弊店は完全なる倉庫を有し懇切に御取扱申候　ふさんあずかり　〇債券公債買受申候　本町四ノ一五　電話一〇二二　福田屋質店　783

債券公債　諸株式賣買　大坂野村徳七代理店　京城本町二丁目　電話長九九三番　田中友吉商店　862

●普通　一回前金三十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

●美味滋養玄米豆腐　實行飛ぶ如し各地製造特約す希望者照會あれ　元山旭町　▲玄米トーフ製造所　927

●子兒守女　四十歳以上五十歳前後の女至急に一名入用希望者は　京城新町　君乃江　930

●男女集金人採用　●外交員至急募集　櫻井町二丁目百九十七番地　京城雜誌講讀會　929

●見習看護婦募集　經驗の有無に係らず希望者履歴書携帶本人來談　京城黄金町四ノ一〇番地　上野醫院　926

●門生入用　希望者本人來談あれ　當地に身元保證人を要す　京城黄金町一丁目　岩田寫眞館　922

●請負　土木建築測量設計監督　師請負業に有經驗希望者乞御照會　釜山停車場前岡本旅館方△橋本惠八　604

▲乳母至急入用　京城旭町一丁目　小森材木店　864

●女中入口　官舍、商家、旅館　京城明治町　萬年社　電話一八四四　893

●名刺特約店募集　希望者至急申込但見本定價表の實費廿錢送付の事　京城明治町二電一二八九　淵川名刺部　895

●番外　一回前金六十錢（無割引）匿名一回毎に金五錢増

●店員入用　二名　十五歳迄高等小學校卒業程度　市内確實の保證人二名を要す　京城本町一丁目　東京塚本出張店　924

京城南山町三丁目巴城館通　齒科醫學士　橋本消次郎　橋本齒科醫院　電話二九二〇番　925

●小供入用　十五歳以上廿歳迄の高等小學校卒業市内に確實なる保證人を要す履歴書携帶本人來談あれ　櫻井町一丁目　新田演藝部　928

●移轉先●本町四ノ四七大東湯前入　鍼灸術　按摩術　萩原頼綱　太田金松　澁谷丈八　醫鍼堂　電話二五五〇番　917

半蔵名産　玄武燒栗　京城旭町一丁目　元祖玄武堂　生栗卸小賣　内地土産　電話取次一五七二番　918

◎京城附近畑貸地　果樹蔬菜好適地料低廉　京城黄金町四丁目　電話一〇一四番　内藤　910

●貸家　南山本願寺前西藍門構　死葺平屋建八疊以下六間同文平山　南山麓死葺平屋建六疊以下四間共物置風呂場付き閑静眺望絶景家賃極　龍山電話五五一番　藤田組　908

永樂町商品陳列所坂の上　皮膚病　花柳病　専門　須古醫院　電話二〇二番　802

恩給年金類立替　京城武橋町二十三番地　京城日報社北右に　電話二二八三番　國江商會　859

●恩給年金類立替　今般業務擴張の爲め左記處へ移轉す（黄金町通櫻井町へ入る西四ッ角）　長電話一一三一番　△博多屋本店　856

●質舖讓受　明治町二丁目木塚質店の質物全部を讓受けずる以後御用の方は當店に御光來被下度候　〇本町三丁目七番地　八木質店　861

本町三丁目總監部通突當り　内科小兒科　産婦人科　今村醫院　電話一八三一番　867

●縣人會大兎狩●　來る二十一日（日曜日）午前三時半獨立門に勢揃出發午後彌弘済院佐々氏農場東肥園に於て矢開の事　●當日辨食は各自携帶の事　●會費金三十錢（學生半額）持參の事　●加入申込は來る十八日迄に大和町三丁目小川靖雄方電話一八一一番　熊本縣人會幹事

十二月號　高島平三郎先生閲　（毎月一回）　日本一　繪雜誌　コドモ　極めて最も教育的面白く　子供を愛する家庭になくてはならぬ讀み物なり　定價一冊金十錢郵税五厘　最寄書店になくば本社へ御申込あれ御注文は振替貯金も可（見本申越次第送呈）　東京小石川林町五　振替東京二七九六三　電話番町一六八一　コドモ社

拓殖博覧會金牌受領　高麗人蔘エキス　神經衰弱、貧血、發育不良、病後衰弱、胃腸病、リユウマチス等其他諸病を根治し虚弱者は強壯に健康者は精力を増進す　京城鍾路　人參本舗　宜壽堂井上藥品部　電話[illegible]

[illegible]三十四の三日間は連夜滿員の盛況を呈したり奇術は看客をして驚異の眼を瞬かしめつゝ有るがバックグラウンドの[illegible]眼もさむる許りなるに加へ[illegible]リンの合奏は微妙の音の冴え渡りて萬場をして思はず神秘の域に臻るの感あらしめ非常の人氣を博し居れり一座の呼[illegible]

[illegible]販賣業[illegible]谷直補(四二)は十一日夜酩酊し十一時[illegible]米倉町に至り蝶甫屋に[illegible]詰りたるに傍より[illegible]の添口したるに言葉の行違ひより[illegible]み切り治療三週間を要する創傷を負はせたるより本町署に訴へられ[illegible]

[illegible]水田七十斗落(價格一千五百圓)の所有者[illegible]印章を僞造して九[illegible]五十圓にて賣却したること發覺し鍾路署に檢擧さる

學生大提灯行列 いよく今日から餘興で大賑ひ

今夜、十五日の今夜は御大典奉祝の爲め府内各學校生徒數萬人の大提灯行列が始まります何分にも一世一代のお芽出度いお祝日でありますから滿都朝からの大賑ひの裡に夜に入つて愈々大行列が繰り出したら京城市中は大變な騷ぎでありませう行列は内地人の各尋常小學校生徒を始め朝鮮人側の各普通學校生徒まで男生徒に限り參加しますから隨分長い大行列となります、行列の集合場所は先づ日の出小學校と南大門小學校と校洞普通學校と光化門前大廣場の四箇所になつてゐますが何れも火龍の如く全街を縫うた上倭城臺總督官邸前では萬歲を高唱します、行列は盛んに唱歌を歌ひて行進しますが市内各商店では何れもイルミネーションや飾り物をして此の大行列に萬歲の喝采を浴びせかける筈です京城日報社では當夜樓上より盛んに歡迎致しますが市内の各商店始め奉祝の彌次團は極力聲援する筈になつてゐます、次で市民の大提灯行列は十七日夜に始まりますが今夜の生徒大行列も其の前祝ひとして盛んにお祝ひする事になつてゐます、大提灯行列は愈よ今夜、誰れも〳〵提灯をかざして陛下の萬々歲を奉唱致しませう

◎深川八幡氏子の御輿行列

大江戸の昔を其儘

御大典奉祝の爲め十四日深川八幡氏子の催ほしたる御輿大行列は昔床しき辰巳の勢を偲ばしむる近來稀なる催しにて當日深川座前に勢揃ひをなし氏子四十一名御輿三十九基外に二對の獅子頭を先頭に宮城前に繰り込みワッショ〳〵の懸聲勇ましく右に左に揉み合ひ押し合ひするさまは大江戸の昔をそのまゝ見る心地して勇ましき極みなり斯くて宮城前に至れば三十九基の御輿を一列に並べ各世話役の發聲にて萬歲を三唱して引揚げたり(東京特電)

京都御苑内に於ける外國使臣團

◎仁川草分けの實業家 敍勳されたる奥田貞次郎氏

仁川商業會議所會頭奥田貞次郎氏は御大典に際して民間功勞者として敍勳の光榮に浴した同氏は語つて曰く『私は今回の御聖恩に浴するに至つたのは豫想外であつて斯る事は夢想だもしなかつたのであります十日の晩に大阪の知人から

敍勳されたる奥田貞次郎氏

▲敍勳を祝する電報に接したのでありますが、殆ど其の意味を了解する事出來なかつたのでありましたが續いて東京、堺からの祝電に接しましたので初めて事實である事を知つた樣な次第でしたが十二日大阪の新聞が到着する迄では未だ發表しなかつたのでした今回の御皇恩の深い事には私を始め一家内感淚に咽んで居ります』と氏は目下前記會頭以外に府協議員穀物協會々長の公職を帶び公共事業其他民間の斡旋には獻身的に努力して居る今回の仁川協贊會には副會長として水族館の開館に對しては殆んど寢食を忘れて盡瘁したものだ長崎の人で氏は

▲明治二十一年渡鮮 三十三歲の時仁川に渡來したのであつて氏の友人にて其の當時の貿易商林市郎氏を援けて奮鬪する事五年間二十六年獨立して精米所を經營したので爾來貿易商を營み現に仁川に於ける實業家の錚々たるもので子息は商店の方を擔任して居る氏は廿七八年に商業會議所議員となつてから爾來民團議員、府協議員、會議所副會頭の職を務めて四十三年以來仁川商業會議所會頭の職にあるのであるが

▲仁川築港に付いて は卅四五年頃から計畫し同志と計つて非常なる盡力をし四十三年起工式を見るに至つたのである其他仁川の水道に就ては三十五六年頃より民間經營にてする筈で水源調査等もやつて居つたのだが三十九年伊藤統監に嘆願して四十二年から官營となり今日の便利を見るに至つた尙ほ米穀改良の爲め數度の蹉跌にも屈せず穀物協會を設立し米穀改良にも非常なる力を盡して居るが氏は本年六十歲なるも今尙ほ矍鑠たるもので益々公共事業に盡瘁する事であらう

◎素晴らしい意氣込 仁川の大提灯行列は愈々今晩七時より

仁川に於ける御大典奉祝提灯行列は愈々今晩七時より始まる既に今晩と迫つた大提灯行列に對しては仁川に於ける各官廳は申すに及ばず一般府民も非常なる意氣込みで諸官公署員一同非常なる贊成で仁川支局に對して提灯の申込みは續々到來し尙ほ各衞生組合各團體よりの申込みも非常なるものにて之に加ふるに鮮人側は約一千の申込あり支局のみにかける提灯の申込數已に三千五百以上に上つて居る、支局に申込みたる外に各自に於いて意匠を凝したものも夥多ある事だから無慮四千以上の火の玉が市中を練り出す事となる參加者は各學校生徒や團體で一般參加者假裝變裝の提灯隊で爆々たる煙花を合圖に午後六時半迄に水族館前に集合するのである仁川の電氣會社は二千燭光のアーク燈二個水族館前に照し行列の便利を計る尙同會社は乾電池を使用して紅白明滅式にて奉祝の字を現はし周圍を廻らすに無數の電球を以てしたる大行燈を押し出して此の一隊に加はるといへば其の如何なるものが出現するかは確かに今晩の觀物である尙ほ奉祝會よりは樂隊を寄附してあるから其の勇ましい音を先登として練り出す鮮人の一隊約一千人は御大典に對し此の提灯行列に加はらんと非常なる意氣込みである愈々今晩の七時となつて出發の煙花が秋の夜に流星を走すと同時に久水名譽總指揮官、奥田總指揮官は仁川旅館前を勇ましい行進樂隊の音にて進行し初める、又總指揮官の次には樂隊、本社々旗及び高張提灯並びに京日徽章入の大行燈二個之に續き學生團體となるので他の團體一般參加者、假裝隊は當業順序に列ぶのである十六日の午前十一時より市中を練り歩く各假裝隊は假裝提灯隊となつて現はれると力んで居る此の日の通路は仁川旅館前を左折し千島正宗前を通過し仲町府廳通に出で府廳前にては奥田總指揮官の發聲にて萬歲を唱へる府廳前より本町宮町を經て日本公園に出で大神宮境内にては久水名譽總指揮官の發聲にて萬歲を唱へて解散する因みに今晩の假裝隊は不敬に渉らぬ範圍に於て大いに歡迎する

◎文部省美術展覽會盛況

去月十五日來開催の文部省美術展覽會は十四日大嘗祭の佳辰を以て閉場せり本年の同展覽會は御大典に遭遇し一層の盛況を極め十二日迄の觀覽者總計十六萬千八百十五人の多數に達し宮内省政府の御買上品を始めとし一般買約品亦多く其金額一萬五千餘圓に及び昨年に比し三倍以上なりと云ふ(東京特電)

◎阿由葉氏失格

栃木縣代議士阿由葉鍋三郎氏は選舉法違反事件にて東京控訴院に於て禁錮二箇月(但五年間執行猶豫)の判決を受け右は十二日確定したるに付き失格せり次點者は田村順之助氏なり(東京特電)

◎仁川の餘興 仁川府中を擧つて三日間の大賑ひ

仁川府に於ては十五日より十七日迄三日間全府餘興を行ふ事は既報の如くであるが愈々その日は切迫し各衞生組合から其の他の團體は思ひ〳〵の意匠を凝して假裝變裝に苦心して居る十五日夜は本社仁川支局主唱で大提灯行列を行ふ又此日は

▲晝間から假裝團が出る 十六日となれば奉祝會の各委員及び有志者は必ず假裝して午前十一時迄に日本公園に勢揃する之に加はる全府の各衞生組合各團體の令珍趣向の番組を擧げて見れば衞生組合二區三區(停車場附近)は萬歲旛を先登に押し立て六十餘名の團體が公卿姿の行列から衞生組合十三十四區(新町)は二百五十名が各自隨意の假裝を爲し區内の各委員は團體統御の爲め

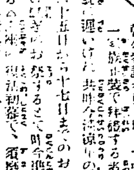
▲白の十字に掛け 奉祝大提灯及び大行燈を先登として練り出す敷島遊廓にては廓内の病院前の空地に舞臺を設け三日間各種の餘興をする仁川券番にては全府の紅裙連總出で仕丁姿で萬歲旛を建てた屋臺を引き出すと云ふ仁川米豆取引所では四十七士の討入を現すので目下準備も完成して既に人選も決定して居る其の他商業會議所の一同は六區七區と合同して珍趣向を打ち出す事となつて居る其他の各區も既に決定して各種各樣の假裝隊が現はれる事であるから十六日の晝夜は仁川市中は假裝隊で埋められる事となる

▲奉祝會にては 十五日の晝間より十七日の夜間迄晝夜假裝隊の出場は隨意と決定してあるのだから假裝隊は三日間に於ては何時出るも差支へ無いのである十七日には迄水族館跡に集合する事となつてる自轉車假裝行列があるので午後一時全府自轉車所有者は全部假裝して出るのであつて一戶にて數臺の所有者は全部出場して可いのであるから十五日より十七日の三日間は晝夜共に仁川府中は假裝隊の變現出沒で

▲目覺むる許りの光景 なるのである因みに十七日午後三時より大神宮内に於て奉祝宴會を行ふ事となつて居つたのは銀行會社の都合にて同日午後四時に變更した

◎今夜は京城券番サメロ總見

壽座にて開演中の藝術座のサロメは舞臺裝飾背景作曲等全然原作によるので此の以前天勝によりて演せられたそれとは全然別な味が出てるので劇「嘲笑」と「飯」も一は上流社會の家庭の波瀾を寫し一は下流社會の現世相を活寫して頗る諷刺に富める事より開場以前より觀客續々と詰めかけ昨十四日を以て打止めの豫定なりしも特に今十五日だけ日延することゝなり今十五日夜は京城券番の綺麗首の總見ある可し



△大嘗祭の本町[illegible]のやうな賑ひで何處の店も大繁昌であつた△南山大神宮には朝來參詣者引も切らず中には一族打揃て拜禮する者もあつた△新嘗祭に[illegible]遲いけれど共昨今[illegible]の秋色[illegible]△十五日から十七日までのお祝ひには各町[illegible]お祭するさうで昨今準備に忙殺されてゐる△[illegible]須磨子のカチューシャが[illegible]何しても出られない……とネリュードフに抱かれる時、大向ふから『アイゴー』と彌次つた者があつて滿場大笑ひ△須磨子と云へばあのサロメの場面の裸體はなか〳〵美しい誰れかの言つたやうにあの腕の曲線美は須磨子の獨特のものであらう△須磨子の大好物は蒲鉾で出世地が信州松代、娛樂が貯金で、初舞臺が明治四十四年五月、以前の當り役がノラとマグダは御承知の通り△十四日のお午頃須磨子を乘せた俥が朝鮮ホテルの門を這入つた餘程眠かつたと見えて續け樣に大欠伸を二つ△十三日壽座の『飯』を大人同伴で見て居た金谷府尹挨拶さして曰く『吾々も相去ること遠からずだわね』

◎寫眞位置訂正 十四日朝刊第三面『榮なる高齡者』の寫眞中兒玉はると村谷みつは誤つて入れ替へとなり居りたるに付き茲に訂正す

輕便印刷器の覇王

堀井謄寫版

販賣元 京城南大門通二丁目 謄寫堂京城出張所

特約店 京城 熊平支店

淋病内服藥 ゴノチール

今ヤ内外諸大家ノ實驗ニ依リ奏効的確ナル治淋劑ト認定サレタル本劑ハ醫界ノ泰斗エールリッヒ、グットマン兩博士ノ創見ニ係リ淋菌ニ對シ烈强ナル殺菌力ヲ有スル「テトラメチールチオニンクロール」ヒドヲートヲ基礎トシ極メテ合理的ニ集成セラレタル者ニシテ彼ノ危險ナル洗滌ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱及尿道炎ニ對シ遺憾ナク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル一新劑ナリ謹ンデ各位ノ御試用ヲ希フ ▲說明書御申越次第郵呈ス ▲各地有名藥店ニアリ ▲品切ノ節ハ直接御注文ヲ乞フ

容量	定價
三十球入	六十五錢
六拾球入	壹圓貳拾五錢
百球入	壹圓八拾五錢
藥局用	五百球、千球入

大阪市道修町三丁目 發賣元 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二四九一、振替大阪七五九〇

奉祝御大典

精良無比の自轉車を求めんと欲せば彼れ是れと其撰擇に迷ふ事なく直ちに左の三車に一決せられよ

◎名聲嘖々 として構造の堅牢車體の輕快他に比類なき自轉車を求めんとせる方は其眞價値を表明しある……

輪界覇王 ハンバー號自轉車

◎實用的模範車 として使用最も峻烈を極めたる郵便局電信配達用として納品の光榮を浴しつゝある……

實用的模範車 リアル號自轉車

◎輕快堅牢精巧確實 にして實用家より多大の信用と名聲を得常に異彩を放ちつゝあるは……

實用大王 ノートン號自轉車

神戸 京城永樂町二丁目 合資會社 橋本商會出張所 電話長一五七九番 振替口座京城二七四一番

朝鮮總督府屬 西村眞太郎著

朝鮮語會話

特價金七拾錢(但前金に限る 郵稅[illegible])

●新刊大好評● 袖珍三百二十餘頁定價金八拾錢(郵稅六錢)

發賣以來好評嘖々、日未だ淺きにも拘らず、破天荒の賣高を示したる本書は朝鮮語修習上害ありて益なき一切の不必要物を除去し、見掛上の體裁を避けて紙數の膨大を防ぎ、繁に堪へざる單語羅列式の死文字を滅却せり。又彼の言語を學ぶ者の最も困難とする動詞其の他の說明の如き、解釋繁に肯りて餘す所なく、一度本書を手にすれば、言葉の應用自由自在にして、所謂『きつぱり』としたる語を學ぶを得べし。而して初學の人士の爲めには巧妙に發音假名を附したるを以つて、世の徒に無駄骨折ること多年、苦心慘憺、漸くにして不自然的なる發音にして、多少の語句を暗記するの愚を避くるを得べし、既に本書の價値は世に定れる評あり。斯道の人士の切に學ばんと欲する朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし、敢て江湖に勸む速に本書を求められよ

發行所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番

大取次 大阪屋號 日韓書房 嚴松堂 各地支局及書肆

◎仁川絹布賣行 仁川十月中の[illegible]たるにより本月は補充的に止まりたるが爲めなり又米價安の爲め地方民の購買力の減退は此等の購入を手控[illegible]

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 卷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大豆堆積推測

滿洲に於ける大豆到著見込に關連する本年の……大豆……如何を推測せん……
入揚を合して三十萬二千二百五十二噸の巨量に達したり。堆積量は到著の緩急如何と積取船の輻輳如何によ……
……パーセントの二割を加ふべしとせば本期特產最大堆積は十七萬三千九十四噸となる石炭は右三月十七日在高……
……る事とせるに大豆のみなりし滿鐵のチヤター船は近時減少したるため大連輸出は昨年に比して著しく減じ……
……ならんか。更に輸入揚堆積につきては入港船の輻輳如何もある事とて先づ同樣と見て爰に……
……庫に容るべきもの二十六萬八千八百三十四噸となり當時の倉庫收容量の二倍強に達したるため大凡十四萬噸……
……三千坪と合して三萬六千坪弱なり右中大豆豆粕等の如きは坪五噸強をも容れ得べき海岸倉庫に至りては輪……
……任約十二三萬噸なるべきかといへば新築倉庫を合するも十四萬千餘噸となり假に十四萬五千噸として右石炭……
……大神宮にては十四日午前十一時より官民學校生徒集合の上大嘗祭當日祭を擧行し非常なる盛況なりき

千生瓢 (41)

須藤南翠作　筒井年峰畫

密計（九）

『山路將監の陣所は、堂木山とおざりまする、穖相序、小可彼處に忍び參つて、山路を說き落すでおざりませう』

忠左衞門は事もなげに言ふのであつたが、盛政は輙く其に應じようとはしなかつた。

『それ僅かに妙策、去りながら此一議私の計ひもなるまい。一應伯父公に申して、其指揮を受ける要があるぢや。まあ、待て。暫時休息しやれさ』

『匠作へ御相談、當然の儀おざりまする。此お使ひ餘人に仰せ付けられず、是非忠左めに御下命の程、堅く願ひ置きまするぞ』

『餘人に勤まる役ともあるまい、氣遣ふには及ばぬわ』

『さらば暫時休息の仕りまする、御用おさらば、何時でも召させられませ』と、忠左衞門は座を立つて、己が陣所へ引き上げた。

其後盛政は、中入の戰鬪に十分の勝利を制するやう、諸將の人選に苦慮を致した。前面に當る堀秀政は、戰術といひ、勇武といひ、其技倆の拔群な事は、盛政も熟知してゐる。此機敏な敵を前に控へて、味方の大軍を動かすといふ事は、容易ならぬ大事業である。盛政は其等の計企を遺算なく決行するために、人知らぬ苦惱を重ねたのであつた。

盛政は竟夜の苦慮を積んで、先づ必勝の籌略が定つた。精しく之を勝家に提出して、軍機を一轉しようと考へた時、中尾山の本陣から急使を以て、至急の出仕を命せられたのであつた。

柴田修理亮勝家は、一通の密書を手にしながら、屡々近者を顧んで盛政の出仕を諮ねてゐたが、盛政の坐に就くを見ると、

『大事が發つた。何と分別の致すな』と、件の密書を差し示した。

盛政は手に受けて讀み下した。察しに違はず岐阜城は二十七日から攻擊せられて、間なく時なく火箭、燒丸をうち込れるので、城中の老若男女は悲鳴をあげて逃げ惑ひ、朝に夕を測られぬ光景である。此の猛烈な攻擊に遭うては、さしもの岐阜城も支へ難く、陷落は免かれぬ。早く馬を出して筑前が後を襲はれぬに於ては、氣逸の三七殿、御生害あるやも知れぬとの旨を、詳かに記き認めてあつた。玄蕃は固より豫期した事であるから、別に驚いた色は見せなかつた。

『速かに當面の敵を蹴ら破つて、岐阜を救けるゝの他はおざらぬ』

『うむ、我等とても左樣存ずるぢや。途中の要害堅固なりとも、何ほどの事があらう。一當あてゝ蹴散かし、火急に美濃に亂入して、筑前めを挾み擊に致さねば、弓矢取る身の耻辱であらうぞ。ぢやが玄蕃、爾うは心に思ひながらも、此堅要な砦々を破るには、味方の勢の大半は傷むが定ぢや。こゝ籌略の要る所、其方が思慮は何とあるな』

『さればぢや、伯父公、東野山の要害に籠め澄かるゝ堀久太、此奴、伯父公も知らるゝ通りの弓矢の巧者、一筋縄で可く敵おざらぬ、岩崎山の高山右近、是も一派しの豪傑ぢや。岩山の中川瀨兵衞、攝州無双の英雄、先陣の猛者として、敵に取つては手剛い代者、田上山の羽柴美濃守、賤ケ嶽の桑山修理、皆並々の侍士でない。是等を打破るには、勿論味方の兵も損する。こゝに堂木山の砦に籠め澄かるゝ山路將監正國は、元來伯父公恩顧の侍士、伊賀に附け置かれた爲に、筑前の與力と相成つておざる。此者を說き落いて、無二の味方とするに於ては、此砦を破ること最と容易の事おざる。只今玄蕃が心恃みは唯此ればかりぢや』

額をさし寄せて、意中の秘を洩すを聞いて、勝家の色は忽ち冴えわたつた。

『一敵に裏切の者あるは、一國二國の味方にも勝るものぢや。但し敵にも嚴しい用愼あらうに、將監が許に遣はすべき伎倆の者、玄蕃に心當りあらうかの』

『それ無うて何しに此議を建て申さう。玄蕃に委細任されうかな』

『おゝ任すわ。首尾よう爲い』

『さらば山路が實心慥めるまで、此沙汰は秘密おざるぞ』

『能う心得居る。構へて敵に氣取られまいぞ』

『先づ其成功を覧さつしやれ。はゝはゝ』と盛政は快く笑つて、昂然として本陣を立ち去つた。勝家は其後影を見送つて、またもや沈思に耽るのであつた。

新刊紹介

▲アマゾン探檢記（中村直吉著）世界探檢家中村直吉氏が自ら踏破せし世界の未知境たる南米アマゾン河畔の大探檢記なり。奮中思はず快哉を叫ばしむるもの多く面白き事此上なし（東京日本橋區本銀町三の二啓成社 一圓）

▲飛行少年（十二月號）相變らず痛快にして面白く且つ有益なるは本誌なり、殊に本號よりは表紙口繪等第一流の諸家の手に成り體裁人目を奪ふに足るものあり、記事としては、火と血を浴びたる突擊戰（一戶大將）冒險小說怪窟絕島（宮崎一雨）飛行機で獨軍陣地を攻擊す（遊佛國飛行大尉）探偵小說古木の怪（佐藤紫仙）我が初陣たる黃海の大海戰（加藤海軍大佐）冒險實話馬來密林中の野象狩（吉井六郎）怪鳥怪獸亂舞す東北の空（白根俊風）痛快小說日本レコード（黒田湖山）米國の雷飛行家（仲睦啖堂）中隊全滅（平井英男）御伽新話天狗茸（みのさく）遭難實話難船して和田岬に野宿（大島寶水）維新志士宮部鼎藏（石井鼇郎）少年小說角力選手（筒井吉人）等例に依つて賑かなり（東京市京橋區日吉町日本飛行研究會 十一錢）

▲美味なる 虫下し最良藥 ▼
定價五錢・十錢・廿錢・五十錢

岩崎大海堂セメンソ菓子
美味ながら 蟲下し最良藥 さんとにねくれー
商標 岩崎大海堂 本舖 大阪天滿 ▲内外藥店にあり

主治効能
蛔虫諸症、疳の虫、蟲熱、夜なきの虫、乳あまし、虫腹いたみ、痛熱の虫、虫胸あしく、勞熱の虫、虫せき、驚風の虫
近來粗惡なるにせもの續出す鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ
▲廿錢のは卅二錢分入りで徳用です 永く常用と進物に妙です

新刊書御案内
大正五年日記

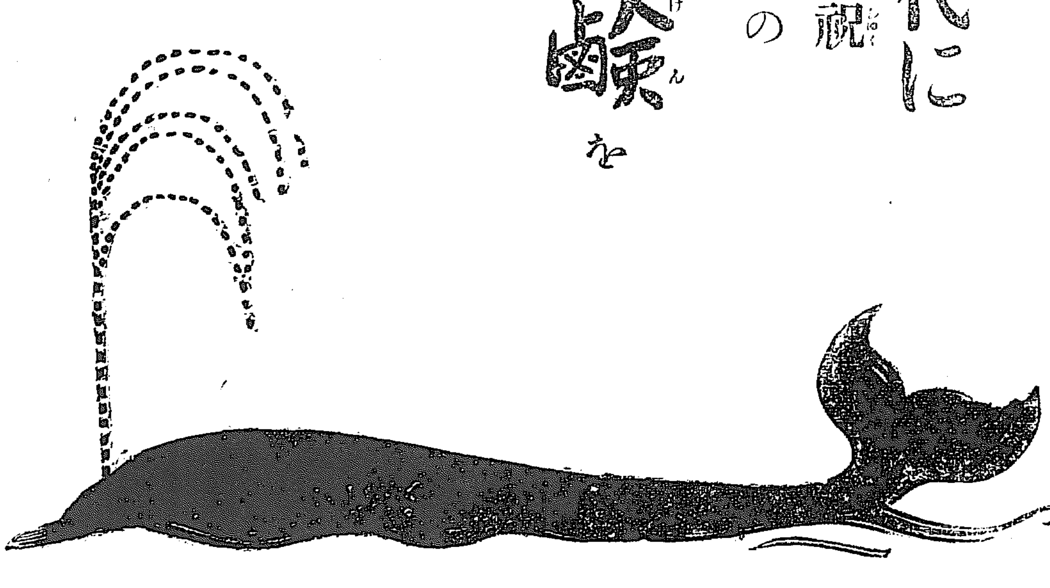
品名	著者	定價
重要日記	實業之日本社	四〇
婦人日記	同	三八
懷中ノート	同 總布	二〇
同	同 紙皮	三〇
農業日誌	文運堂	四五
臺所勘定帳	同	二五
國民日記	民友社	四五
修養日記	東亞堂	五〇
俳句日記	東雲堂	四〇
短歌日記	同	四〇
婦人日記	積善館	三五
當用日記 特	同	四五
同 上	同	三五
同 小	同	三〇
新式當用日記 總皮	同	六五
同 總布	同	四五
懷中日記 總皮	同	三五
同 總布	同	二〇
同 特	同	一五
同 上	同	一〇
同 並	同	〇八
同 大	同	二〇
實用ポケット日記 總皮	同	五五
同 總布	同	三〇

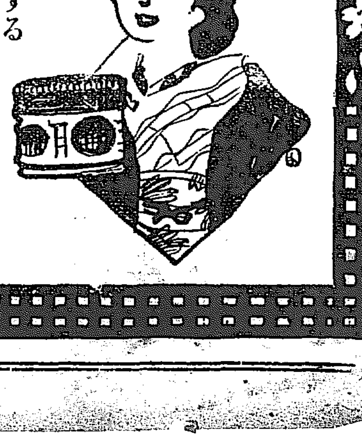
大阪屋號書店
京城本町 電話二〇八六番 振替京城二五七二

東洋一 新形流行の魁
内田式ストロング鞄は堅牢優美、恒久一耐久保證す
御旅行用 靴と鞄
◎定價表郵券二錢
東京市芝區櫻田伏見町角
内田靴鞄製造問屋
電話新一五五一、新一八七一七
商標

最新唯一 即位記念品頒布
全國支部長募集
他に類例なき唯一高貴の記念品頒布
希望者郵券五錢添申込の事規則送る
東京麹町區平河町二ノ八
御即位大禮奉祝
大日本忠愛義會

大魚も踊る大御代に
曠古の御大典を奉祝する爲め、我國產の
品質本位
花王石鹸を
愛用して潔き皮膚の色艶とかぎりなき爽快の氣分とを
十二分に發揮せられよ



花王石鹸製造元 錦香水關東代理店 東京馬喰町 長瀬商會
錦香水日本橋入元 花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

宮内省御用 皇后宮職御用 各宮家御用
荒を防ぐは美の始也
されば美人美男と言はれる方は寒さの今を
クレームレートで
皮膚を整へ色艶を保護するに人一倍の苦心する
レート化粧料本舖 東京・大阪 平尾賛平